

阿賀野市まちづくりの目標

～ 元気で明るく活力のある魅力的なまち ～

安全・安心な暮らしの実現のため、地域防災力及び消防団体制の強化、防災減災及び防火意識の高揚、応急手当の普及などに取り組み、防災減災体制を充実させます。

【阿賀野市総合計画より】



阿賀野市市章

阿賀野市の「ア」で阿賀野川に抱かれた緑豊かな阿賀野市の明るく元気な姿をデザイン。

赤はさん然と輝く希望の太陽とみなぎる活力を、青は市が誇る人・もの・情報の発信と市民の手をつなぐ協働・共生を、緑は理想の明日を拓く創造性とひろがる夢や未来を表現。



阿賀野市イメージキャラクター
「ごずっちょ」

阿賀野市にそびえ立つ五頭山と、美しい白鳥をイメージしたキャラクターです。つぶらな瞳と頭に付けた桜の花飾りがチャームポイントです。



阿賀野市消防本部
(エンブレム)

最上部に市章。中央に消防部局の使命である市民の生命、身体、財産を守る消防・救助・救急の文字を配し、消防のイメージカラーであるオレンジで囲むことで消防署員のチームワークを表現。

目 次

〔総 務〕

1. 阿賀野市の概要と沿革	1
2. 阿賀野市消防本部のあゆみ	3
3. 阿賀野市消防本部管轄区域図	12
4. 阿賀野市人口	13
5. 消防庁舎現況	13
6. 消防機構	14
7. 消防予算	15
8. 消防費と人口・世帯・消防吏員の割合	17
9. 面積・人口・世帯数とポンプ車及び消防吏員の割合	17
10. 消防吏員数	
(1) 階級別	18
(2) 勤続年数別	18
(3) 年齢別	18
11. 消防吏員特殊技能資格取得状況	19

〔防 災〕

12. 消防通信系統図	21
13. 消防緊急通信指令施設構成	22
14. 無線局の配備状況	23
15. 消防車両一覧	25
16. 特殊機器等保有状況	26
17. 消防水利状況	28
18. 火災統計	
(1) 出火件数	29
(2) 原因別出火状況	29
(3) 月別出火状況	29
(4) 曜日別出火状況	30
(5) 時間帯別出火状況	30
(6) 気象別出火状況	31
(7) 火災記録明細表	33
(8) 月別火災発生状況	34
(9) 地区別火災記録明細表	36
(10) 火災状況(5年間)	37
(11) 月別火災件数(5年間)	38

〔予 防〕

19. 危険物	
(1) 製造所等の施設状況	39
(2) 製造所等の施設状況(年度別)	39
(3) 製造所等の許可・完成検査・廃止等の状況	40
(4) 類別・製造所等の状況	40

(5) 数量別・製造所等の状況	41
(6) 危険物施設立入検査の状況	41
20. 防火対象物	
(1) 150㎡以上の防火対象物の状況	42
(2) 防火管理者及び消防計画届出の状況	42
(3) 防火対象物立入検査の状況	42
(4) 消防用設備等着工届受理状況	45
(5) 消防用設備等設置届受理状況	45
(6) 火災予防条例施行規則に基づく届出状況	46
21. 建築確認申請同意処理状況	
(1) 用途別同意件数	47
(2) 構造別同意件数	49
(3) 工事別同意件数	50

〔救急・救助〕

22. 救急統計	
(1) 出場件数、搬送人員状況(5年間)	51
(2) 主な事故種別割合(5年間)	51
(3) 傷病者の住所別搬送状況	51
(4) 令和2年救急出場状況	52
(5) 月別出場状況	53
(6) 傷病程度別搬送人員	53
(7) 覚知時刻別出場件数	54
(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員	54
(9) 現場到着所要時間別出場件数	55
(10) 収容所要時間別搬送人員	55
(11) 急病、発生場所別搬送人員	56
(12) 一般負傷、発生場所別搬送人員	56
(13) 応急処置等の状況	57
(14) 磐越自動車道における救急出動状況	57
(15) C P A症例の状況	58
(16) 応急手当普及活動状況	59
23. 収容状況	
(1) 収容状況	60
(2) 事故種別転送回数搬送人員	61
(3) 急病に係る疾病分類と搬送人員	61
24. 救助統計	
(1) 救助活動状況	62

〔消防団〕

25. 消防団員数・年報酬等調べ	
(1) 年報酬	63
(2) 諸手当	63

(3) 消防団員数	63
(4) 年齢別消防団員数	63
(5) 在職年数別消防団員数	64
26. 消防団機械器具	64

〔気 象〕

27. 気象状況	
(1) 月別天候(9時現在)(3年間)	65
(2) 天候割合(9時現在)	65
(3) 月別平均気温(3年間)	66
(4) 月別最高・最低気温	66
(5) 月別平均相対湿度(3年間)	67
(6) 月別平均実効湿度(3年間)	67
(7) 月別最低実効湿度	68
(8) 月別平均風向	69
(9) 月別平均風速・最大瞬間風速	69
(10) 月間降水量(3年間)	70
(11) 年間降水量(3年間)	70
(12) 日最大降水量(3年間)	71
(13) 最深積雪量(3年間)	72
28. 安田地区気象状況	
(1) 火災警報発令件数及び延べ日数	73
(2) 月別平均風向	73
(3) 最大瞬間風速	74
(4) 降水量	74
(5) 月別最高・最低気温	75
(6) 月別相対・実効湿度(9時現在)	75

〔付 録〕

29. 幼少年女性防火クラブ	
(1) 幼年消防クラブ結成状況	76
(2) 女性防火クラブ結成状況	76

総務



令和2年度全国統一防火標語

その火事を 防ぐあなたに 金メダル



阿賀野市消防本部庁舎



かがやき分署庁舎

1. 阿賀野市の概要と沿革

阿賀野市は、新潟平野のほぼ中央に位置し、南側に大河阿賀野川が流れ、東側に標高1,000メートル級の山々が連なる五頭連峰を背にして形成された扇状地に6,500ヘクタール余りの水田が広がる穀倉地帯です。

県都新潟市から南東へ約20キロメートル、東は新発田市、阿賀町、西は新潟市、南は五泉市、阿賀町、北は新潟市、新発田市にそれぞれ接しています。磐越自動車道と国道49号が南北に、国道460号と290号、JR羽越本線が東西に走り、県都に隣接する自然環境豊かな地域です。

阿賀野市は、東西約18.5キロメートル、南北約15.3キロメートルで、192.7平方キロメートルの面積を有しています。地目別に見ると、農地が73.2平方キロメートル、宅地が12.1平方キロメートル、山林64.8平方キロメートルとなっています。

阿賀野市の気候は、日本海気候に属していますが、冬期間でも近年の暖冬傾向により、小雪となっています。春から夏にかけて、阿賀野川の水面を渡るように、時折強い南東(ダシ)の風がこの地域を吹き抜けます。

自然山水はすべて五頭山脈に源流を發し、東から西又は北西に向かって流れていてその主なるものは、北から折居川、大荒川、安野川、都辺田川があります。ほかに人工用水路として、小松地先阿賀野川から取水し山裾を北上して新潟東工業港へと延びる阿賀右岸大規模用水の幹線及び支線、水路が管内殆どの農地を潤すとともに、農閑期でも大切な消防水利となっています。

道路網は、磐越自動車道が南部を横断し、市内唯一の安田インターチェンジがあります。国道49号が中心部を貫いて、新発田・新潟を結ぶ国道460号と交差しており、更に国道290号が山沿いを走り五泉市へと延びています。県道は、市街地から放射線状に、水原・出湯線、大室・水原線、新関・水原停車場線、新潟・長浦線等があります。

平成6年7月28日、磐越自動車道、安田インター・新潟中央インター間が、平成8年11月14日安田インター・津川インター間の供用開始、平成9年10月1日全線開通により新潟市はじめ県内外からの交通アクセスがより良くなりました。

JR羽越線新津・新発田間が平野部を南西から北東に走り、「きょうがせ」、「す

いばら」、「かみやま」の3駅があります。

阿賀野市は、有史以来交通、経済、文化、軍事の要衝となり、徳川時代には幕府直轄の奉行所や代官所が置かれ、廃藩置県前後の明治2年には越後府が置かれ水原県となり、やがて新潟県と変遷したことから新潟県政発祥の地であるという自負もあり、平成7年8月には水原代官所を復元しました。

市内の安田地区、笹神地区、京ヶ瀬地区は支配系統の異なる新発田領でしたが、日常生活、経済活動に最も密接な水原地区の市場を中心に共同生活圏が生成され一体感が培われ今日に至っています。

これらを背景として昭和41年4月旧町村及び消防機関の協議会の総会において広域消防早期実現の決議がなされ、この方針に則り、県の助言指導を受けながら事務担当者から消防機関、町村執行部、議会へと段階的に広く研究協議を重ね、紆余曲折の末、昭和45年10月1日から救急業務を旧水原町に委託する方法により開始し、昭和48年4月1日一部事務組合が発足し、常備消防だけではありますが一体化が実現しました。

その後昭和54年4月1日、阿賀北広域組合水原郷消防本部が発足。

平成16年4月1日、水原町・安田町・笹神村・京ヶ瀬村が町村合併し、阿賀野市が誕生、阿賀野市消防本部となり、平成26年に10周年を迎え、消防力強化のため旧各町村にあった分遣所を統廃合し、新たに安田地区の新潟県東部産業団地内にかがやき分署を開庁、1本部1署1分署体制になり、現在に至ります。

2. 阿賀野市消防本部のあゆみ

昭和48. 4. 1 水原郷消防組合発足、構成町村 水原町、安田町、笹神村、京ヶ瀬村、組合管理者に水原町長 佐藤貞太郎就任（消防長事務取扱）。

水原郷消防職員として水原町退職者23名、安田町退職者6名、笹神村退職者3名を採用。新採用20名を含め常勤職員総員52名となる。

旧水原町消防庁舎を利用し消防本部・署を設置、消防自動車2台、救急車1台、指令車1台、署員33名、旧安田町消防本部を利用し安田分遣所を設置、消防車1台・救急車1台署員7名、旧笹神村消防団本部を利用し笹神分遣所を設置、消防車1台、署員6名、旧京ヶ瀬村農業共済組合事務所を利用し京ヶ瀬分遣所を設置、消防車1台、署員6名。以上の体制で発足した。

昭和48. 4. 1 阿賀野川総合運動場を阿賀野川総合運動場協議会から当消防組合が引き継ぐ。

昭和48. 7. 1 本署27名、安田分遣所9名、笹神分遣所8名、京ヶ瀬分遣所8名の体制となる。

昭和48. 9. 軽連絡車1台購入本署に配置

昭和48.11. 水槽付き消防ポンプ自動車1台購入、本署に配置

昭和48.12.20 管理者水原町長佐藤貞太郎退職

昭和49. 2. 7 笹神村長折笠信雄管理者（消防長事務取扱）に就任

昭和49. 3. 指令車更新本署に配置

昭和49. 3.31 職員1名退職。

昭和49. 4. 1 職員新採用8名、実員59名となる。

昭和49. 4. 笹神分遣所新庁舎鉄筋コンクリート造が落成し移転

昭和49. 6. 軽連絡車1台購入安田分遣所に配置

昭和49. 7. 1 本署31名、安田分遣所10名、笹神分遣所9名、京ヶ瀬分遣所9名の体制となる。

昭和49. 9. 8 第25回県消防大会ポンプ操法競技大会ポンプ車の部で、第3位入賞（会場佐渡小木町）

- 昭和49. 10. 笹神分遣所消防車更新
- 昭和49. 11. 21 本署消防車1台水原町消防団に返納
- 昭和50. 4. 1 職員新採用1名、実員60名となる。
- 昭和50. 4. 阿賀野川総合運動場連絡車1台購入本署に配置
- 昭和50. 4. 軽連絡車1台購入笹神分遣所に配置
- 昭和51. 4. 軽連絡車1台購入京ヶ瀬分遣所に配置
- 昭和51. 7. 機材積載車1台購入本署に配置
- 昭和51. 10. 8 日本損害保険協会から消防車（BD-I型）1台寄贈を受け本署に配置
- 昭和52. 3. 31 職員1名退職。
- 昭和52. 4. 1 職員新採用1名、実員60名となる。
- 昭和53. 3. 31 職員1名退職により本署29名、安田分遣所10名、笹神分遣所10名、京ヶ瀬分遣所10名体制の実員59名となる。
- 昭和53. 4. 1 新発田広域消防と消防相互応援協定締結
- 昭和53. 5. 12 安田局119番を本部へ移転。指令卓への組込は、6月5日
- 昭和53. 7. 23 二市北蒲原地区支会ポンプ操法競技会、署ポンプ自動車の部で優勝（会場 豊栄市）
- 昭和53. 8. 20 第29回県消防大会操法競技大会署ポンプ自動車の部で優勝（会場 六日町）
- 昭和54. 3. 31 水原郷消防組合解散
- 昭和54. 4. 1 阿賀北広域組合発足
- 組合構成団体に豊栄市も含まれることとなったが、消防に関しては従来通り。
- 組合管理者に水原町長吉川正夫就任、消防長に小林正巳が就任。
- 消防施設、消防体制は旧水原郷消防組合より継承
- 昭和54. 11. 13 村松瓦斯水道株式会社から広報車1台の寄贈を受け本署に配置
- 昭和55. 2. 5 日本自動車工業会から救急車（2B型）1台の寄贈を受け本署に配置
- 旧救急車（A級）は予備車として運用

昭和55. 4. 1 職員新採用2名、本署31名、安田分遣所10名、笹神分遣所10名、京ヶ瀬分遣所10名、実員61名となる。

昭和55. 4. 1 水原郷消防署救助隊発足

昭和55. 7. 20 二市北蒲原地区支会ポンプ操法競技大会署ポンプ自動車の部で優勝（会場 水原町）

昭和55.10.24 副管理者笹神村長折笠信雄任期満了退任

昭和55.10.25 笹神村長五十嵐利彦副管理者に就任

昭和56. 1. 1 職員1名死亡退職、実員60名となる。

昭和56. 3. 1 救急医療情報システム端末機設置により運用開始(県委託)

昭和56. 3. 31 職員1名退職。

昭和56. 4. 1 職員新採用2名、実員61名となる。

昭和56. 7. 24 第10回消防救助技術東北指導会初出場（会場 仙台市）

昭和56.11.30 防衛施設庁補助事業により消防ポンプ自動車（BD-I 型）1台購入
本署に配置

昭和57. 3. 31 消防庁舎建設用地取得、造成工事完了（6,049㎡）

昭和57. 6. 9 副管理者京ヶ瀬村長小林健司任期満了退任

昭和57. 6. 10 京ヶ瀬村長米山俊彦副管理者に就任

昭和57.11.22 消防庁、消防施設補助事業により消防ポンプ自動車（BD-II 型）1
台購入安田分遣所に配置

昭和58. 3. 新消防庁舎竣工

昭和58. 4. 15 新庁舎に移転、業務開始

昭和58. 7. 12 新消防庁舎竣工式

昭和58. 8. 消防庁舎舗装工事竣工

昭和58. 9. 1 豊栄市と消防相互応援協定締結

昭和58.12. 消防庁舎消雪パイプ施設工事竣工

昭和59. 7. 5 屋外訓練場張芝工事竣工

昭和60. 5. 幼年消防クラブ、15クラブ発足

昭和60. 8. 28 職員1名退職。

昭和60. 10. 30 消防庁消防施設補助事業により消防ポンプ自動車（CD-I型）1台
購入、京ヶ瀬分遣所に配置

昭和61. 4. 1 職員新採用1名、実員61名となる。

昭和61. 5. 幼年消防クラブ、7クラブ結成し22クラブとなる。

昭和61. 8. 25 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（BD-I型）1台寄贈を受け
本署に配置

昭和62. 3. 31 職員1名退職。

昭和62. 4. 1 職員新採用1名、実員61名となる。

昭和62. 5. 幼年消防クラブ、1クラブ結成し23クラブとなり、管内の結成率
100%となる。

昭和62. 8. 25 N T T 衛星通信119番設置

昭和63. 6. 30 職員1名退職。

昭和63. 8. 日本消防協会から救急車（2B型）1台寄贈を受け本署に配置
旧救急車は予備車として運用

平成元. 3. 31 職員2名退職。

平成元. 4. 1 職員新採用4名、実員62名となる。

平成元. 5. 1 職員新採用1名、実員63名となる。

平成 2. 1. 1 水原郷幼少年婦人防火委員会結成

平成 2. 2. 23 防衛施設庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）1
台購入本署に配置

平成 2. 3. 31 職員2名退職。

平成 2. 4. 1 職員新採用2名、転出1名、実員62名となる。

平成 2. 7. 1 安田分遣所配置の日本赤十字社救急車（2B型）更新

平成 2. 8. 1 指令車更新

平成 2. 9. 1 新潟県・水原郷総合防災訓練を当管内において実施

平成 3. 3. 31 職員1名退職。

平成 3. 4. 1 職員新採用4名、実員65名となる。

平成 4. 3. 31 職員1名退職。

平成 4. 4. 1 定員72名、職員新採用4名、実員68名となる。

平成 5. 4. 1 定員78名、職員新採用5名、実員73名となる。

平成 5.12.16 消防庁消防施設補助事業により救助工作車 1 台購入、本署に配置

平成 5.12.20 管理者水原町長吉川正夫任期満了退任

平成 5.12.21 水原町長五十嵐雄介管理者に就任

平成 6. 3.31 職員2名退職。

平成 6. 4. 1 定員78名、職員新採用6名、実員77名となる。安田分遣所19名体制となる。

平成 6. 7. 1 磐越自動車道供用開始に伴い、安田分遣所に高速救急隊発足

平成 6. 7.19 磐越自動車道消防相互応援協定、締結

平成 6.12.13 高速救急隊用救急車（2B型）1台更新、安田分遣所に配置

平成 7. 3.22 防衛施設庁補助事業により消防ポンプ自動車（CD- I 型）1台購入、笹神分遣所に配置

平成 7. 3.31 副管理者笹神村長五十嵐利彦任期満了退任

平成 7. 3.31 職員4名退職。

平成 7. 4. 1 定員78名、職員新採用4名、実員77名となる。
新潟県消防防災ヘリコプター応援協定、締結

平成 7. 4.24 笹神村長佐藤一字副管理者に就任

平成 8. 2. 消防庁消防施設補助事業により、消防緊急通信指令施設設置

平成 8. 3. 消防庁及び県消防施設補助事業により高規格救急車（2B型）1台購入、本署に配置

平成 8. 4. 連絡車 1 台更新、本部に配置

平成 8.11.11 東蒲原広域消防組合との消防相互応援協定、締結

平成 9. 3. 消防ポンプ自動車（CD- I 型900L水槽付）1台更新、安田分遣所に配置

平成 9. 3.31 職員2名退職。

平成 9. 4. 1 定員78名、職員新採用3名、実員78名となる。

平成10. 3.20 職員1名死亡退職、実員77名となる。

平成10. 4. 1 定員78名、職員新採用1名、実員78名となる。

平成10. 8. 3 安田分遣所配置の日本赤十字社救急車(2B型)更新

- 平成10. 9. 25 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(CD-I型)1台寄贈を受け
本署に配置
- 平成12. 3. 31 職員1名退職。
- 平成12. 4. 1 定員78名、職員新採用1名、実員78名となる。
- 平成12. 5. 2 五泉市消防本部と「ホテルさきはな」における消防業務について
覚書締結
- 平成13. 3. 8 消防ポンプ自動車(CD-I型)1台更新、京ヶ瀬分遣所に配置
- 平成13. 3. 31 職員1名退職。
- 平成13. 4. 1 京ヶ瀬分遣所、新庁舎移転、業務開始
- 平成14. 9. 28 新潟県消防長会主催、新潟県消防職員駅伝大会を当本部管内を会場
に実施。優勝は五泉市消防本部
- 平成15. 8. 9 職員1名死亡退職、実員76名となる。
- 平成16. 3. 防衛施設庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車(水-II型)
1台更新、本署に配置
- 平成16. 3. 財団法人日本消防協会から指令車1台寄贈を受け本部に配置
- 平成16. 3. 31 職員1名退職。
- 平成16. 4. 1 阿賀野市消防本部となり、定員85名、消防職員75名・事務職員3名(消
防団事務担当)、計78名体制となる。
- 平成16. 11. 30 職員1名退職。
- 平成17. 3. 24m級はしご付き消防ポンプ自動車(CD-II型)1台導入、本署に
配置
- 平成17. 3. 31 職員1名退職。
- 平成17. 4. 1 定員85名、職員新採用4名、実員80名体制となる。
- 平成17. 8. 4 安田分遣所配置の日本赤十字社救急車(2B型)更新
- 平成18. 3. 31 職員2名退職。
- 平成18. 4. 1 定員85名、職員新採用2名、実員80名体制となる。
- 平成19. 3. 31 職員1名退職。
- 平成19. 4. 1 定員85名、職員新採用2名、実員81名体制となる。
- 平成19. 9. 10 指令車(指令2号車)・広報車(指令3号車)老朽化のため廃車

平成20. 4. 1 定員85名、職員新採用3名、実員84名体制となる。

平成20. 7. 29 職員1名退職。

平成20. 10. 28 消防庁消防施設等整備費補助事業・緊急消防援助隊設備整備事業
補助により高規格救急車更新・本署に配置
前高規格救急車は、安田分遣所に配置

平成21. 3. 10 高規格救急車更新により、旧2B型救急車を朱色全面塗装して広報
車(指揮後方支援車)として運用開始

平成21. 3. 31 職員1名退職。

平成21. 4. 1 定員85名、職員新採用3名、実員85名体制となる。

平成21. 12. 31 職員1名退職。

平成22. 3. 31 職員4名退職。

平成22. 4. 1 定員85名、職員新採用5名、実員85名体制となる。

平成23. 1. 31 職員1名退職。

平成23. 3. 1 防衛省補助事業により、消防ポンプ自動車(CD- I 型600L水槽付) 1
台更新、笹神分遣所に配置

平成23. 3. 31 職員6名退職。

平成23. 4. 1 定員85名、職員新採用5名、実員83名体制となる。

平成23. 4. 20 消防救急デジタル無線基本設計(電波伝搬調査等)業務委託

平成23. 8. 31 職員1名退職。

平成23. 10. 13 消防緊急通信指令装置更新

平成24. 3. 8 消防救急デジタル無線実施設計業務委託

平成24. 3. 26 緊急消防援助隊設備整備費補助事業により、救助工作車(Ⅱ型)1
台更新、京ヶ瀬分遣所に配置

平成24. 3. 31 職員1名退職、事務職員1名異動。

平成24. 4. 1 定員85名、職員新採用2名、実員82名体制となる。

平成24. 6. 26 消防機能再編事業基本・実施設計業務委託

平成25. 3. 31 職員5名退職。

平成25. 4. 1 定員85名、職員新採用5名、実員82名体制となる。

平成25. 4. 1 消防救急デジタル無線運用開始

平成26. 3. 31 職員6名退職。

平成26. 3. 31 署所再編によって、安田分遣所、笹神分遣所及び京ヶ瀬分遣所の3分遣所を廃止

平成26. 4. 1 定員85名、職員新採用6名、実員82名体制となる。

平成26. 4. 1 かがやき分署新庁舎業務開始。1本部1署3分遣所から1本部1署1分署となり消防本部・消防署54名、かがやき分署28名の体制となる。

平成26. 4. 1 高規格救急車1台更新、かがやき分署に配置

平成26. 10. 10 職員1名退職。

平成27. 2. 1 消防庁緊急消防援助隊設備整備助事業により、消防ポンプ自動車(CD-I型600L水槽付)1台更新、本署に配置

平成27. 2. 総務省所管に属する物品の無償貸与事業により、救助資機材搭載型消防ポンプ車1台借受、消防団安田常備分団に配置

平成27. 2. 26 防衛省補助事業により、高規格救急車1台更新、本署に配置

平成27. 3. 31 職員2名退職。

平成27. 4. 1 定員85名、職員新採用5名、実員84名体制となる。

平成27. 8. 31 職員1名退職。

平成28. 3. 31 職員4名退職。

平成28. 4. 1 定員85名、職員新採用5名、実員84名体制となる。

平成29. 2. 8 消防ポンプ自動車(CD-I型)1台更新、分署に配置

平成29. 3. 31 職員1名退職。

平成29. 4. 1 定員85名、職員新採用2名、実員85名体制となる。

平成29. 5. 1 職員1名退職。

平成30. 1. 16 総務省消防庁救急企画室事業「平成29年度寄贈救急自動車」により、アステラス製薬株式会社より高規格救急自動車1台寄贈を受け本署に配置

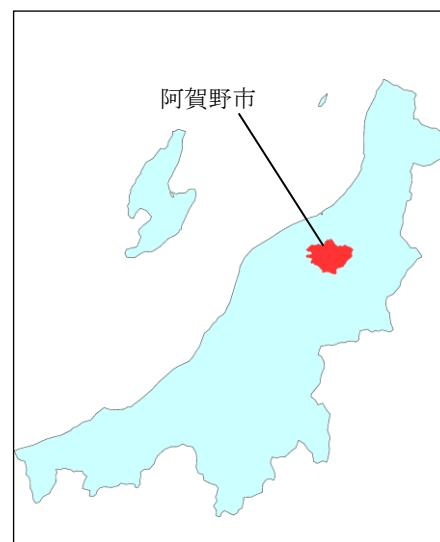
平成30. 3. 28 消防本部庁舎1階を改築し、女性職員専用浴室及びトイレを設置

平成30. 3. 31 職員1名退職。

平成30. 4. 1 職員定数条例の改正により定員86名、職員新採用3名、実員86名体制となる。

平成30.12. 6	職員1名退職。
平成31. 4.30	職員1名退職。
令和 2. 3.31	職員1名退職。
令和 2. 4. 1	定員86名、職員新採用2名、実員85名となる。
令和 2. 8.31	職員1名退職。
令和 3. 3. 1	防衛省補助事業により、水槽付消防ポンプ自動車（水-Ⅱ型）1台 更新、本署に配置
令和 3. 3.31	職員3名退職。

3. 阿賀野市消防本部管轄区域図



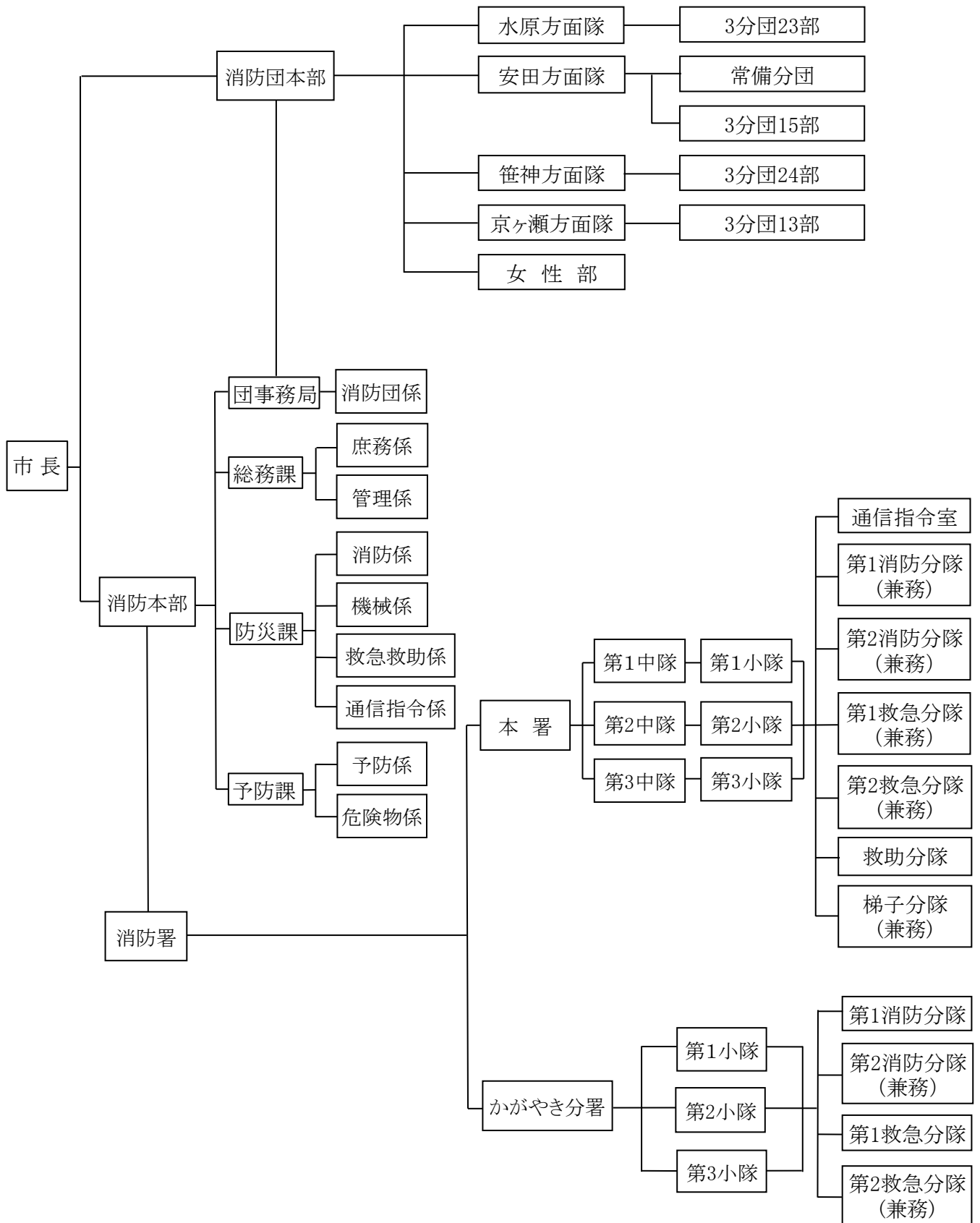
4. 阿賀野市人口

区 分	
国勢調査面積 (平成27年)	192.74 km ²
国勢調査人口 (平成27年)	43,421 人
国勢調査世帯数 (平成27年)	13,389 世帯
住民基本台帳人口 (令和3年3月31日現在)	41,238 人 (男20,000人・女21,238人)
住民基本台帳世帯数 (令和3年3月31日現在)	14,650 世帯

5. 消防庁舎現況

名 称 所在地	構 造 建築年月日	敷地面積	建築面積	延べ面積
阿賀野市消防本部 阿賀野市消防署 〒959-2003 阿賀野市安野町 14番4号 TEL 0250-62-2058	鉄筋コンクリート造 一部2階建 昭和58年3月 平成26年3月増改築 平成30年3月改築	5,925.68 m ²	1,034.72 m ²	1,898.54 m ²
かがやき分署 〒959-2206 阿賀野市かがやき 5917番地34 TEL 0250-68-3007	鉄骨造2階建 平成26年3月	3,903.88 m ²	786.6 m ²	1,498.73 m ²

6. 消防機構



7. 消防予算

(単位：千円)

年度別		令和元年度
科目		当初予算額
9 消防費		852,656
1 消防費		852,656
1 常備消防費		663,116
(2) 給料		311,214
(3) 職員手当等		235,870
(4) 共済費		100,940
(8) 報償費		36
(9) 旅費		459
(11) 需用費		10,743
(12) 役務費		1,003
(13) 委託料		268
(14) 使用料及び賃借料		791
(16) 原材料費		73
(18) 備品購入費		584
(19) 負担金補助及び交付金		861
(27) 公課費		274
2 非常備消防費		100,869
(1) 報酬		14,548
(8) 報償費		29
(9) 旅費		8,986
(10) 交際費		10
(11) 需用費		7,645
(12) 役務費		1,910
(13) 委託料		0
(14) 使用料及び賃借料		218
(15) 工事請負費		3,000
(18) 備品購入費		43,836
(19) 負担金補助及び交付金		20,458
(27) 公課費		229
3 消防施設費		32,689
(9) 旅費		0
(11) 需用費		14,935
(12) 役務費		3,486
(13) 委託料		8,818
(14) 使用料及び賃借料		964
(15) 工事請負費		0
(18) 備品購入費		1,500
(19) 負担金補助及び交付金		2,986
(25) 積立金		0
(27) 公課費		0

年度別		令和2年度
科目		当初予算額 前年度比較
9 消防費		909,877 57,221
1 消防費		909,877 57,221
1 常備消防費		721,791 58,675
(2) 給料		315,589 4,375
(3) 職員手当等		235,313 △ 557
(4) 共済費		102,598 1,658
(7) 報償費		36 0
(8) 旅費		559 100
(10) 需用費		10,782 39
(11) 役務費		1,054 51
(12) 委託料		165 △ 103
(13) 使用料及び賃借料		798 7
(15) 原材料費		84 11
(17) 備品購入費		52,918 52,334
(18) 負担金補助及び交付金		1,395 534
(26) 公課費		500 226
2 非常備消防費		54,957 △ 45,912
(1) 報酬		14,548 0
(7) 報償費		30 1
(8) 旅費		8,987 1
(9) 交際費		10 0
(10) 需用費		8,329 684
(11) 役務費		2,025 115
(12) 委託料		0 0
(13) 使用料及び賃借料		214 △ 4
(14) 工事請負費		0 △ 3,000
(17) 備品購入費		0 △ 43,836
(18) 負担金補助及び交付金		20,465 7
(26) 公課費		349 120
3 消防施設費		37,701 5,012
(8) 旅費		0 0
(10) 需用費		9,898 △ 5,037
(11) 役務費		3,507 21
(12) 委託料		8,509 △ 309
(13) 使用料及び賃借料		1,297 333
(14) 工事請負費		0 0
(17) 備品購入費		4,048 2,548
(18) 負担金補助及び交付金		10,442 7,456
(24) 積立金		0 0
(26) 公課費		0 0

4	救急業務費	11,803
(8)	報償費	43
(9)	旅費	462
(11)	需用費	4,802
(12)	役務費	654
(13)	委託料	2,127
(14)	使用料及び賃借料	731
(18)	備品購入費	354
(19)	負担金補助及び交付金	2,555
(27)	公課費	75
5	水防費	1,151
(9)	旅費	938
(11)	需用費	140
(12)	役務費	73
(13)	委託料	0
6	災害対策費	42,829
(1)	報酬	276
(3)	職員手当等	1,000
(4)	共済費	12
(7)	賃金	982
(8)	報償費	50
(9)	旅費	21
(11)	需用費	4,403
(12)	役務費	808
(13)	委託料	11,225
(14)	使用料及び賃借料	2,692
(15)	工事請負費	0
(16)	原材料費	94
(18)	備品購入費	19,381
(19)	負担金補助及び交付金	1,885
(23)	償還金利子及び割引料	0
7	山岳遭難救助対策費	199
(9)	旅費	147
(11)	需用費	42
(12)	役務費	10

4	救急業務費	8,423	△ 3,380
(7)	報償費	43	0
(8)	旅費	114	△ 348
(10)	需用費	4,277	△ 525
(11)	役務費	761	107
(12)	委託料	2,095	△ 32
(13)	使用料及び賃借料	736	5
(17)	備品購入費	183	△ 171
(18)	負担金補助及び交付金	139	△ 2,416
(26)	公課費	75	0
5	水防費	1,757	606
(8)	旅費	1,509	571
(10)	需用費	171	31
(11)	役務費	6	△ 67
(12)	委託料	71	71
6	災害対策費	84,994	42,165
(1)	報酬	1,321	1,045
(3)	職員手当等	1,060	60
(4)	共済費	218	206
(6)	賃金	0	△ 982
(7)	報償費	100	50
(8)	旅費	100	79
(10)	需用費	3,934	△ 469
(11)	役務費	1,330	522
(12)	委託料	14,961	3,736
(13)	使用料及び賃借料	2,673	△ 19
(14)	工事請負費	14,350	14,350
(15)	原材料費	119	25
(17)	備品購入費	42,868	23,487
(18)	負担金補助及び交付金	1,960	75
(22)	償還金利子及び割引料	0	0
7	山岳遭難救助対策費	254	55
(8)	旅費	177	30
(10)	需用費	63	21
(11)	役務費	14	4

8. 消防費と人口・世帯・消防吏員の割合

(単位：円)

区分 年度	消防費 当初予算額	人口一人あたり の消防費	一世帯あたり の消防費	吏員一人あたり の消防費
平成28年度	934,238,000	21,494	65,081	11,393,146
平成29年度	901,970,000	21,026	62,541	10,999,634
平成30年度	880,097,000	20,824	60,931	10,477,345
令和元年度	852,656,000	20,446	58,662	10,398,243
令和2年度	909,877,000	22,064	62,108	10,962,373

9. 面積・人口・世帯数とポンプ車及び消防吏員の割合

区分 年度	面積 km ²	住民基本台帳 人口及び世帯数 (年度末)		ポ ン プ 車	消 防 吏 員	ポンプ車一台あたり			消防吏員一人あたり		
		人 口	世帯数			面積 km ²	人口	世帯数	面積 km ²	人口	世帯数
平成28 年度	192.7	43,464	14,355	7	82	27.529	6,209	2,051	2.35	530	175
平成29 年度	192.7	42,897	14,422	7	82	27.529	6,128	2,060	2.35	523	176
平成30 年度	192.7	42,263	14,444	7	84	27.529	6,038	2,063	2.29	503	172
令和元 年度	192.7	41,702	14,535	7	82	27.529	5,957	2,076	2.35	509	177
令和2 年度	192.7	41,238	14,650	7	83	27.529	5,891	2,093	2.32	497	177

注：ポンプ車数には、ポンプ付き救助工作車1台とはしご車1台を含む。

注：消防吏員は各年度末数。

10. 消防吏員数

(1) 階 級 別

令和2年4月1日現在

階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
吏員	1	11	27	6	8	30	83

(単位:人)

(2) 勤続年数別

令和2年4月1日現在

階級 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合 計
1年未満						2	2
1年以上2年未満						0	0
2年以上3年未満						2	2
3年以上5年未満						7	7
5年以上10年未満						19	19
10年以上15年未満				3	8		11
15年以上20年未満				3			3
20年以上25年未満			5				5
25年以上30年未満		1	20				21
30年以上35年未満		7	2				9
35年以上40年未満		2					2
40年以上	1	1					2
合計	1	11	27	6	8	30	83

(単位:人)

(3) 年 齢 別

令和2年4月1日現在

年 齢	～ 20	21 ～ 25	26 ～ 30	31 ～ 35	36 ～ 40	41 ～ 45	46 ～ 50	51 ～ 55	56 ～	平均 年齢 36.7 歳
吏 員 (人)	2	10	20	11	1	16	12	6	5	83
構 成 比 (%)	2.4	12	24.1	13.3	1.2	19.3	14.5	7.2	6	100

11. 消防吏員特殊技能資格取得状況

(令和3年3月31日現在) (単位:人)

階 級 別 資 格 区 分		司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	計
自動車 運転免許	大 型 免 許	1	10	27	6	8	26	78
	中 型 免 許		2	3		1	5	11
	普 通 免 許	1	9	26	6	7	23	72
	大 型 特 殊 免 許		5	8	3		3	19
	けん引免許			1				1
	自動二輪免許	1	7	17	1	1	3	30
	原 付 免 許	1	9	20	3	3	8	44
救 急 救 命 士			5	10	3	2	6	26
救 急 I 課 程 修 了 者		1	8	2				11
救 急 II 課 程 修 了 者		1	8	2				11
救 急 標 準 課 程 修 了 者			3	24	5	7	23	62
応 急 手 当 指 導 員		1	9	24	6	8	30	78
J P T E C プ ロ バ イ ダ ー			1	7	3	6	16	33
M C L S コース修了者			5	12	2			19
I C L S コース修了者			5	9	3	4	9	30
P S L S コース修了者			5	8	3	4	4	24
i P E D コース修了者				5	2	2	5	14
消防設備士	甲 種 第 4 類			1				1
	甲 種 第 5 類			1				1
	乙 種 第 1 類		1					1
	乙 種 第 2 類		1					1
	乙 種 第 3 類		1					1
	乙 種 第 4 類		1	2				3
	乙 種 第 5 類		1					1
	乙 種 第 6 類		3	6	2		8	19
	乙 種 第 7 類		1	1				2
危険物取扱者	乙 種 第 1 類		1	6		2	1	10
	乙 種 第 2 類		1	5		3	3	12
	乙 種 第 3 類		1	7	2	2	2	14
	乙 種 第 4 類	1	10	23	6	8	30	78
	乙 種 第 5 類		1	8	2	2	2	15
	乙 種 第 6 類		1	8	1	3	2	15
	丙 種	1	2	4				7
予防 技術 資格者	防火査察専門員		1	5	2	1	1	10
	危険物専門員		2	4				6
	消防用設備等専門員			2				2
消防設備点検 資格者	第 1 種						1	1
	第 2 種						1	1

(令和3年3月31日現在) (単位:人)

階 級 別 資 格 区 分	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	計
第2級陸上特殊無線技士	1	11	26			2	40
第3級陸上特殊無線技士			1	6	8	28	43
アマチュア無線技士	1	6	5				12
アセチレンガス溶接士技能者		4	10	1	3	3	21
1級小型船舶操縦者		2	2				4
2級小型船舶操縦者		2	7	2	3		14
潜 水 士		2	4	1		1	8
小型移動式クレーン運転技能講習		4	11	2	5	16	38
玉 掛 技 能	1	5	16		5	16	43
2 級 建 築 士		1					1
足場の組み立て等作業主任者	1	3	3	1	1		9
乙種火薬類取扱保安責任者		1					1
酸素欠乏危険作業主任者		1	7				8
第2種酸素欠乏危険作業主任者		2	9	3	6	11	31
特定化学物質等作業主任者		2	1				3
テクニカルロープレスキュー			4	1	2	7	14
スイフトウォーターレスキュー レベル1			4		2	6	12
スイフトウォーターレスキュー レベル2			2				2
伐木等(大径木70cm以上)の業務特別教育			1				1
フルハーネス墜落制止用器具特別教育			7		2	14	23

防災

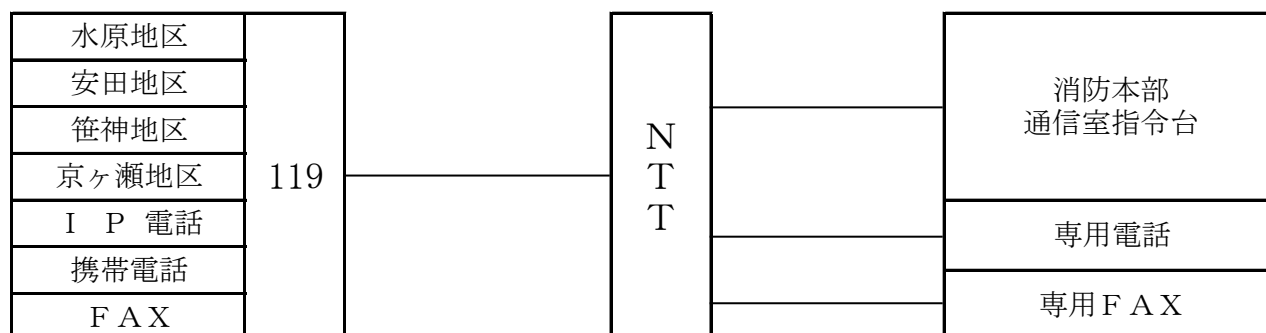


【令和2年の火災概要】

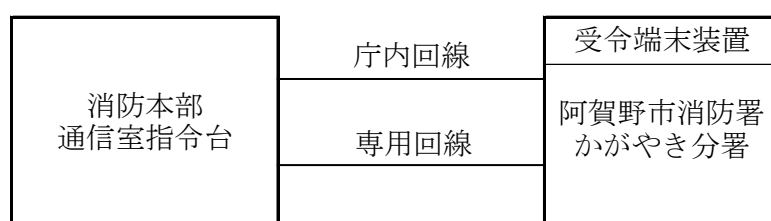
- 火災発生件数は10件で前年比較3件減。
- 火災種別は建物火災8件、その他火災2件。
- 焼損棟数は20棟で全焼9棟、部分焼11棟。
- 焼損面積は建物火災焼損床面積1,441 m²、焼損表面積61 m²。
- 損害額は59,173千円で前年比較51,705千円増。
- 出火原因は配線器具・たばこ各2件、焚火・取灰・施工不良・火遊び・放火・放火の疑い・各1件。
- 死者2名、負傷者4名。

12. 消防通信系統図

119番入電系統図

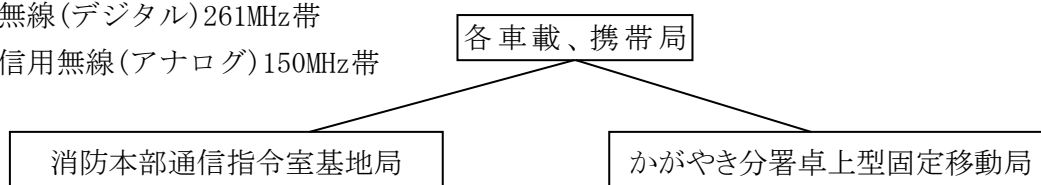


指令回線系統図



無線系統図

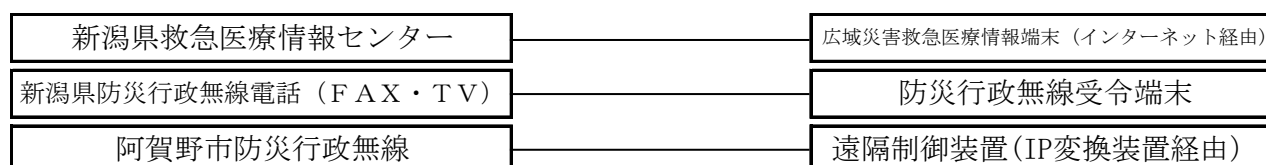
消防用業務無線(デジタル)261MHz帯
防災相互通信用無線(アナログ)150MHz帯



電話関係



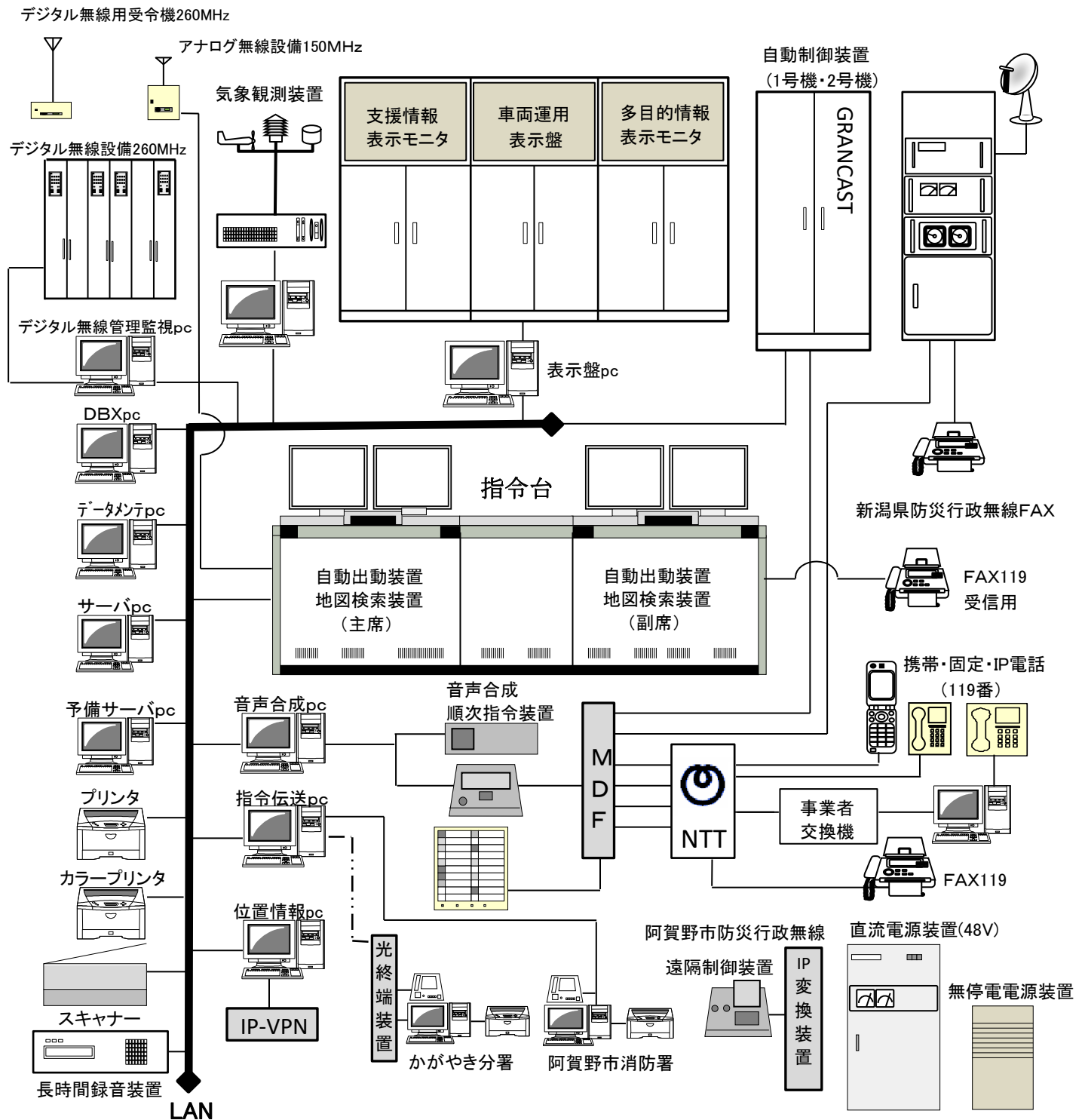
情報関係



関係機関等連絡系統図



13. 消防緊急通信指令施設構成



14.無線局の配備状況

識別信号	区分	出力 (W)	種別	配置場所	移動体	備 考
あがのしょうぼうほんぶ		5	基地	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしょうぼう901		10	卓上固定	かがやき分署		デジタル方式
あがのしき 1		10	車載	阿賀野市消防本部	指揮車	デジタル方式
あがのしき 2		10	車載	阿賀野市消防本部	指揮支援車	デジタル方式
あがのぼんぶ 1		10	車載	阿賀野市消防本部	ポンプ車	デジタル方式
あがのぼんぶ 5		10	車載	阿賀野市消防本部	ポンプ車	デジタル方式
あがのたんく 1		10	車載	阿賀野市消防本部	タンク車	デジタル方式
あがのれすきゅー 1		10	車載	阿賀野市消防本部	救助工作車	デジタル方式
あがのはしご 1		10	車載	阿賀野市消防本部	はしご車	デジタル方式
あがのしょうぼう 15		10	車載	阿賀野市消防本部	広報車	デジタル方式
あがのしょうぼう 16		10	車載	阿賀野市消防本部	人員輸送車	デジタル方式
あがのきゅうきゅう 2		10	車載	阿賀野市消防本部	救急車	デジタル方式
あがのきゅうきゅう 5		10	車載	阿賀野市消防本部	救急車	デジタル方式
あがのぼんぶ 2		10	車載	かがやき分署	ポンプ車	デジタル方式
あがのぼんぶ 3		10	車載	かがやき分署	ポンプ車	デジタル方式
あがのきゅうきゅう 1		10	車載	かがやき分署	救急車	デジタル方式
あがのきゅうきゅう 3		10	車載	かがやき分署	救急車	デジタル方式
あがのたんく 2		10	車載	安田常備分団器具置場	団ポンプ車	デジタル方式
あがのしき 20		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 21		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 22		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 23		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 60		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 61		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 62		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 63		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 65		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのぼんぶ 30		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのぼんぶ 31		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのぼんぶ 34		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのたんく 32		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのたんく 33		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのれすきゅー 40		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのれすきゅー 41		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのはしご 42		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのはしご 43		5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式

区分 識別信号	出力 (W)	種別	配置場所	移動体	備 考
あがのきゅうきゅう 50	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのきゅうきゅう 53	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしょうぼう 70	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしょうぼう 71	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしょうぼう 72	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしょうぼう 74	5	携帯	阿賀野市消防本部		デジタル方式
あがのしき 64	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのぼんぷ 35	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのぼんぷ 36	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのぼんぷ 37	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのぼんぷ 38	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのたんく 39	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのきゅうきゅう 51	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのきゅうきゅう 52	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのしょうぼう 73	5	携帯	かがやき分署		デジタル方式
あがのしょうぼうほんぷ	10	基地	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 108	5	携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式
あがのしょうぼう 112	5	携帯	阿賀野市消防本部		アナログ方式

15. 消防車両一覧

令和3年3月31日現在

所属	無線呼出名称	車種	車名	登録番号	購入年月	ポンプ名 型式	摘要
消防本部・署	あがのぼんぷ1	普通ポンプ車	日野	新潟 800 す 7219	H26.12	モリタ CDー I	CAFS 水600L 緊援隊補助
	あがのたんく1	水槽付ポンプ車	日野	新潟 800 は 2204	R3.2	モリタ 水ー II	水2,000L 防衛省補助事業
	あがのぼんぷ5	普通ポンプ車	いすゞ	新潟 800 さ 3825	H13.3	モリタ CDー I	可搬ポンプ積載
	あ が の し き 1	指揮車	三菱	新潟 800 さ 7653	H16.3		日本消防協会より 寄贈
	あがのはしご1	梯子付ポンプ車	日野	新潟 800 は 674	H17.3	モリタ ME-5	ポンプ搭載 24M級
	あがのれすきゅー1	救助工作車	日野	新潟 800 は 1327	H24.3	モリタ R II 型	ポンプ搭載 緊援隊補助
	あがのきゅうきゅう2	救急車	トヨタ	新潟 800 す 9553	H29.12	高規格	アステラス製薬より 寄贈
	あがのきゅうきゅう5	救急車	トヨタ	新潟 800 す 6664	H26.3	高規格	
	あがのしょうぼう16	人員輸送車	トヨタ	新潟 301 め 3172	H30.8		1BOXワゴン
	あがのしょうぼう13	資材搬送車	三菱	新潟 45 せ 6520	H10.3		トラック型
	あ が の し き 2	指揮支援車	トヨタ	新潟 800 さ 267	H10.7		
	あがのしょうぼう15	連絡車	トヨタ	新潟 400 と 760	H23.10		普通ライトバン
	あがのしょうぼう17	連絡車	スバル	新潟 41 さ 2837	H14.4		
	あがのしょうぼう18	連絡車	スバル	新潟 41 す 4947	H15.4		
かがやき分署	あがのぼんぷ2	普通ポンプ車	日野	新潟 800 す 8863	H29.2	モリタ CDー I	
	あがのぼんぷ3	普通ポンプ車	日野	新潟 800 す 4200	H23.2	モリタ CDー I	CAFS 水600L 防衛省補助事業
	あがのきゅうきゅう1	救急車	トヨタ	新潟 800 す 7292	H27.2	高規格	防衛省補助事業
	あがのきゅうきゅう3	救急車	トヨタ	新潟 800 す 2319	H20.10	高規格	緊援隊補助
	あがのしょうぼう19	連絡車	ダイハツ	新潟 41 こ 1305	H13.5		

16. 特殊機器等保有状況

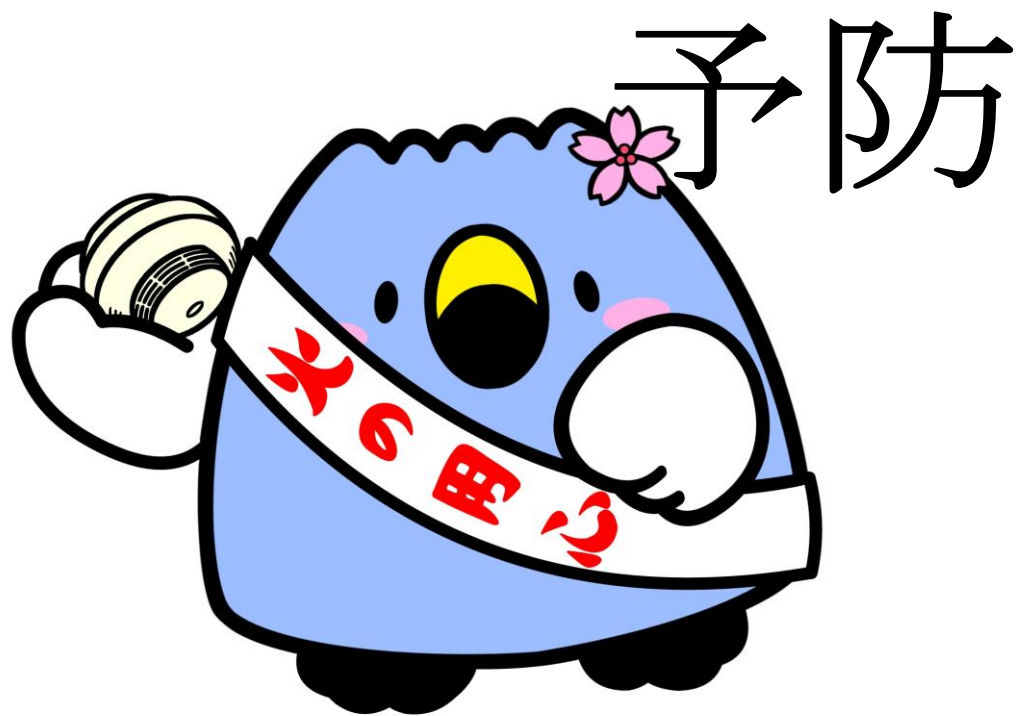
区分	品 名	数 量	備 考
救 急 機 器 材	自 動 心 臓 マ ッ サ ー ジ 器	4	コムスタット、ルーカス×3
	陰 圧 式 固 定 用 具	4セット	全身用、部分用
	加 湿 酸 素 吸 入 装 置	4	
	人 工 呼 吸 器	4	オキシログ、アンサー×2、メデューマット
	吸 引 器	5	電池式
	パ ル ス オ キ シ メ ー タ ー	5	
	電 子 体 温 計	19	即時用、低体温測定用、赤外線用
	電 子 血 圧 計	10	
	レ ス キ ュ ー セ ッ ト	4	
	ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー	7	
	喉 頭 鏡	7	マギール鉗子付
	エ ア ウ ェ イ	複数	気管挿管、LT、経鼻、経口
	救 命 浮 輪	複数	
	救 急 車 内 消 毒 器	3	
	ベ ッ ド サ イ ド モ ニ タ ー	4	観察用
	除 細 動 器	4	日本光電
	A E D	1	日本光電 二相性
	携 帯 電 話	4	NTTドコモ(スマートフォン)
	耐 電 手 袋	6双	
	リトルアン(4体セット)	6	
	レコーディングレサシジュニア	1	(訓練用人形)レールダル
	幼 児 心 肺 蘇 生 練 習 モ デ ル	5	レールダル、ヤガミ、アンブ
	異 物 除 去 ト レ ー ナ ー	2	
	気 道 確 保 ト レ ー ナ ー	1	レールダル
	静 脈 路 確 保 ト レ ー ナ ー	4	(腕用)レールダル、KAREN
	A E D ト レ ー ナ ー	16	日本光電×8、フィリップス×8
	酸 素 ボ ン ベ	23	2L
	〃	17	10L
	多数傷病者用救急セット	2	
	トリアージシート(4色)	2セット	
	点 滴 用 ス タ ン ド	7	
	オ キ シ ク リ ッ プ	7	
	ハイテクバックボード一式	8	
	全自動高圧蒸気滅菌装置	2	
	エ ア ウ ェ イ ス コ ー プ	1	
	静 脈 可 視 化 装 置	2	StatVein
	血 糖 測 定 器	5	
	防 刃 ベ ス ト	12	
	クラシック出産シミュレーター	1	
	セ ー ブ マ ン	2	コーケン

区分	品 名	数 量	備 考
一般救助器具	か ぎ 付 は し ご	2	
	三 連 梯 子	7	
	金属製折りたたみ梯子又はワイヤ梯子	1	
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	1	スーパーソフトランディングエアマット
	救 命 索 発 射 銃	2	M-300型、M3
	サバイバースリング又は救助用縛帯	9	ピタゴール等
	平 担 架	1	バックボード
重量物排除用器具	油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	2	オグラマルチ
	可 搬 ウ ィ ン チ	1	TU-16
	マンホール救助器具	1	
	マット型空気ジャッキ式	1	ホルマトロ
	大 型 油 圧 ス プ レ ッ ダ ー	1	ホルマトロ
	コ ン ビ ツ ー ル	2	ルーカス、オグラ
切断用器具	油 圧 切 断 機	2	オグラマルチ
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	1	スチール
	ガ ス 溶 断 機	1	ペトロカッター
	チ ェ ー ン ソ ー	2	スチール
	鉄 線 カ ッ タ ー	6	
	空 気 鋸	1	
	大 型 油 圧 切 断 機	1	
	空 気 切 断 機	1	
破壊用器具	万 能 斧	17	弁慶、斧、ツルハン
	ハ ン マ ー	6	鎚、掛矢
	携帯用コンクリート破壊器具	1	ストライカー
	削 岩 機	1	
	ハ ン マ ー ド リ ル	2	
検知・測定用器具	可 燃 性 ガ ス 測 定 器	2	GX、ドレーゲル
	有 毒 ガ ス 測 定 器	2	GX、ドレーゲル
	酸 素 濃 度 測 定 器	2	GX、ドレーゲル
呼吸保護用具	空気呼吸器(予備ボンベ含む)	44	
	空 気 補 充 用 ボ ン ベ	84	
隊員保護用器具	耐 電 手 袋	5	
	耐 電 用 具 一 式	6	耐電衣、耐電ズボン、耐電長靴
	防 塵 メ ガ ネ	5	
	防 毒 マ ス ク	3	サカヰ式3
	携 帯 警 報 器	8	レスキューコール
	防 塵 マ ス ク	5	カムホエリート
	送 排 風 機	2	

区分	品 名	数 量	備 考
水難救助用器具	流 水 救 助 器 具 一 式	6	
	救 命 胴 衣	13	ライフジャケット、PFD7
	救 命 浮 環	3	
	救 命 ボ ー ト	3	アキレスゴムボート、アルミボート
	船 外 機	1	トーハツ:20馬力
	胴 付 長 靴	3	
山岳救助用器具	登 山 器 具 一 式	17	
	バ ス ケ ッ ト 担 架	3	
	ス ケ ッ ド ス ト レ ッ チ ャ ー	1	
高度救助用器具	熱 画 像 直 視 装 置	1	フリーシステムジャパン
その他救助用器具	投 光 器 一 式	8	
	携 帯 投 光 器	24	ポーターライト
	携 帯 拡 声 器	9	
	携 帯 無 線 機	37	
	応 急 処 置 用 セ ッ ト	6	
	車 両 移 動 器 具	4	ゴージャック
	発 電 機	8	
	衛 星 携 帯 電 話	1	スラーヤ XT-LITE

17. 消防水利状況

区分 地区別	消火栓		防火水槽		その他
	基 準	基準以下	基 準	基準以下	プールに限る
水原地区	134	321	17	2	4
安田地区	167	208	54	5	1
笹神地区	108	217	16	7	2
京ヶ瀬地区	93	210	5	6	2
合 計	502	956	92	20	9



【令和2年度の概況】

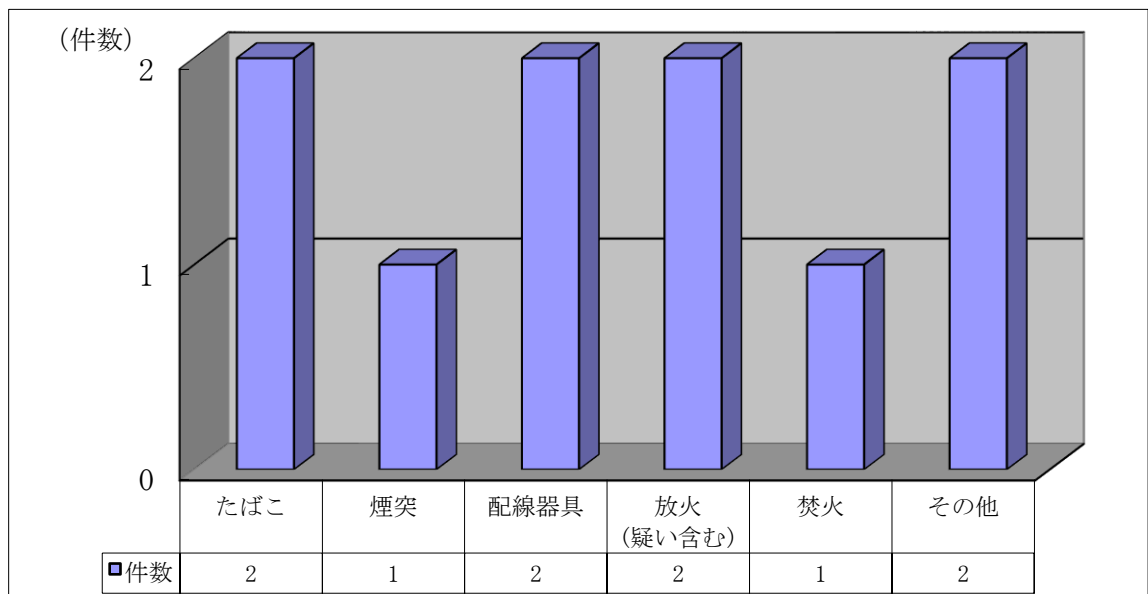
- 危険物施設について
施設数は、前年度 272 施設に対し、269 施設で 3 施設減。
- 危険物施設の立入検査について
年間計画に基づき、危険物施設 269 施設について、延べ 269 回の立入検査を実施。
また、危険物安全週間中に、安全協会役員と合同で施設の安全管理に関する意識の向上と災害防止を図るため、特別立入検査を実施。
- 防火対象物の立入検査について
年間計画に基づき、延べ面積 150 m²以上の防火対象物 1,603 棟について、延べ 902 回の立入検査を実施。
- 確認申請の受理件数について
申請件数は前年度 88 件に対し、90 件で 2 件増。
令別表第 1 用途別に見ると、前年度 40 件に対し、42 件で 2 件増。
住宅については、前年度 15 件に対し、8 件で 7 件減。
都市計画区域内(準防火地域を除く)で、一般住宅の消防同意は、通知書に改められている。

18. 火災統計

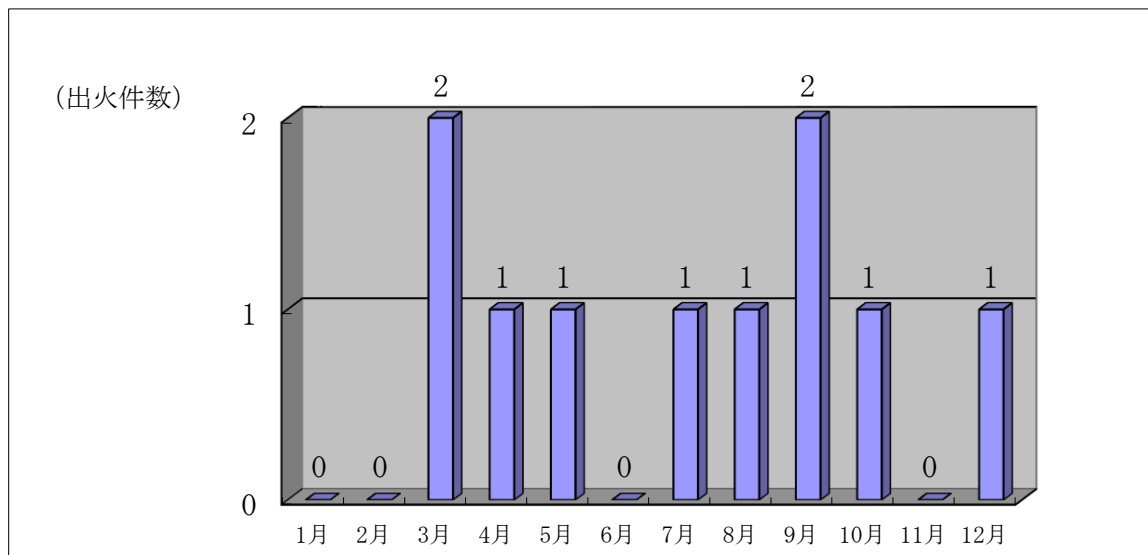
(1) 出火件数

区 分	出火件数	死者数	負傷者数	損害額（千円）
全国（概数）	34,602	1,321	5,511	68,071,009
新 潟 県	513	31	108	1,365,535
阿 賀 野 市	10	2	4	59,173

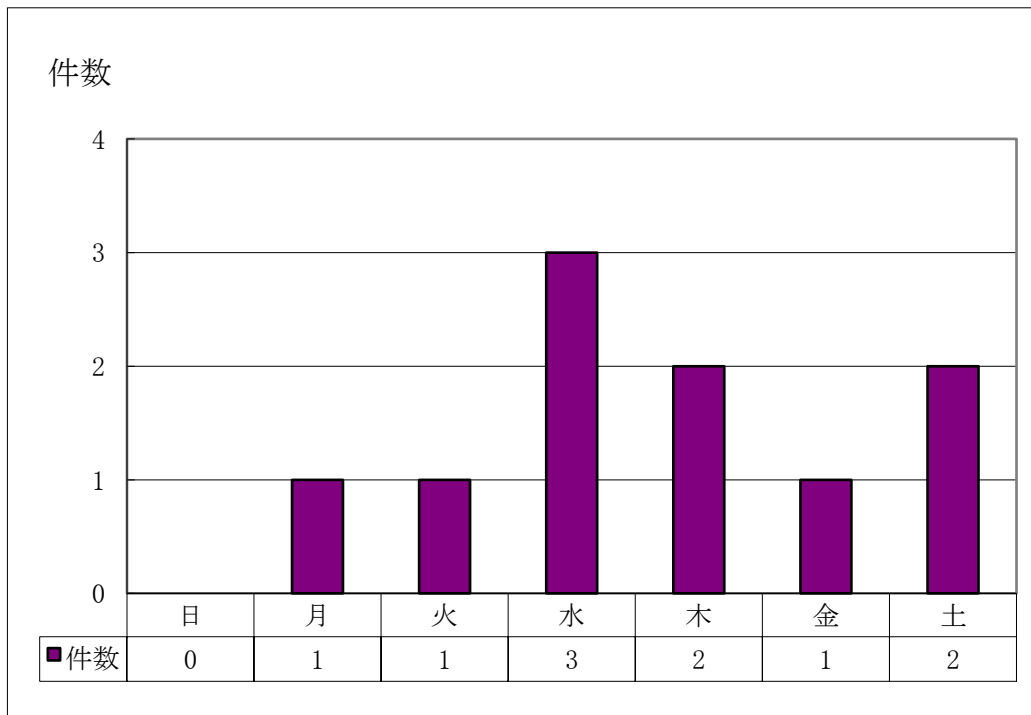
(2) 原因別出火状況



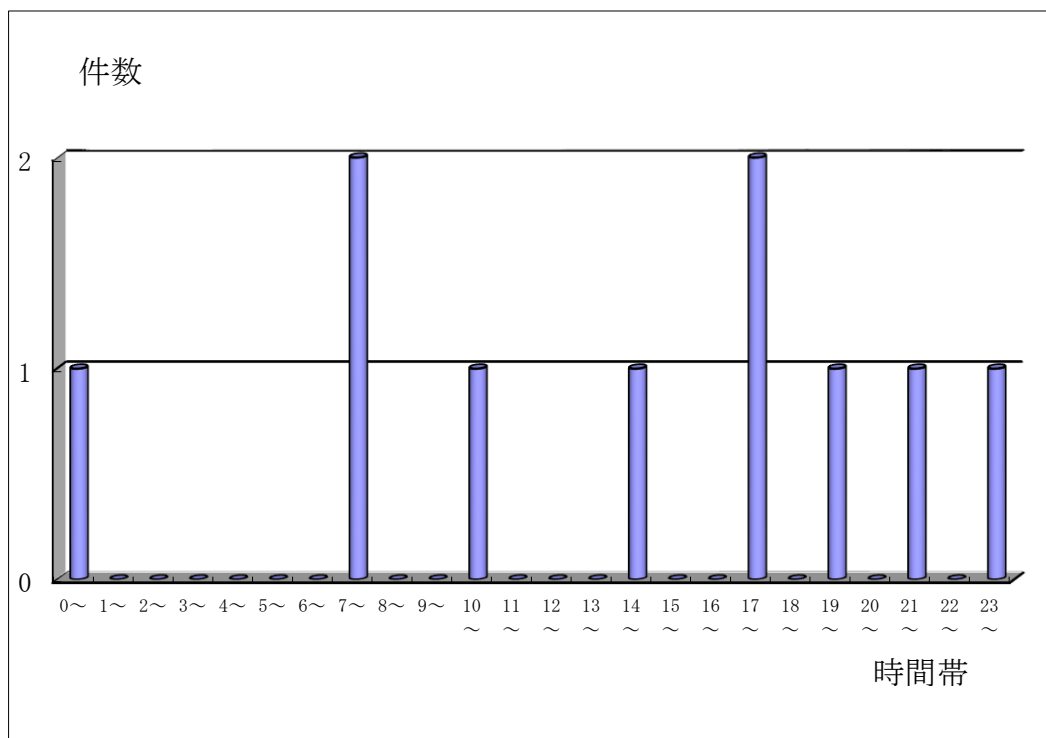
(3) 月別出火状況



(4) 曜日別出火状況

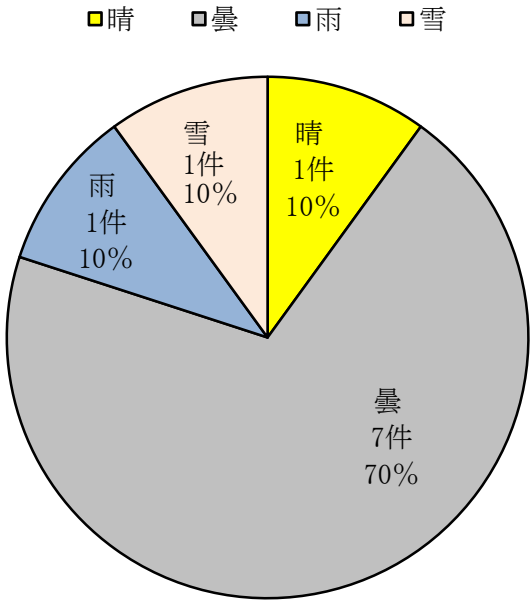


(5) 時間帯別出火状況

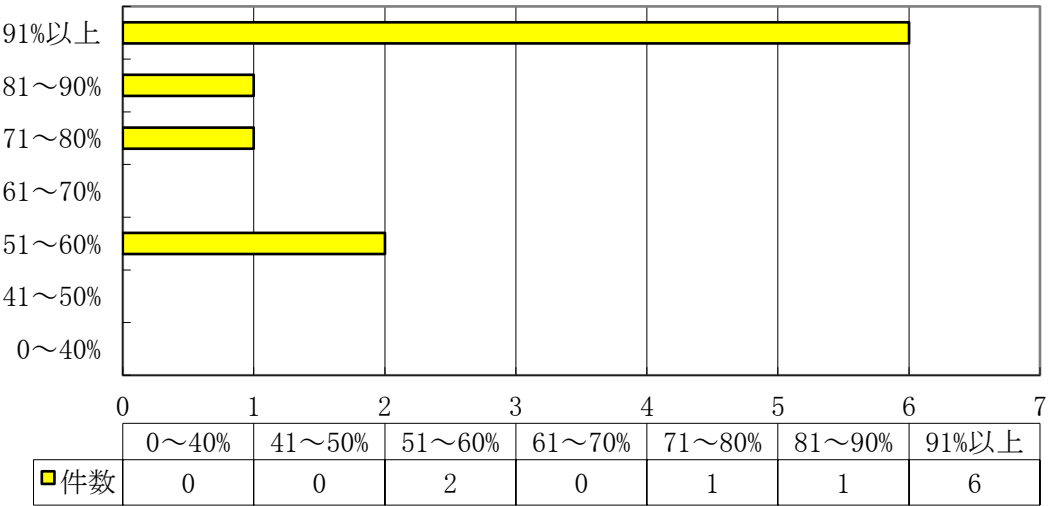


(6) 気象別出火状況

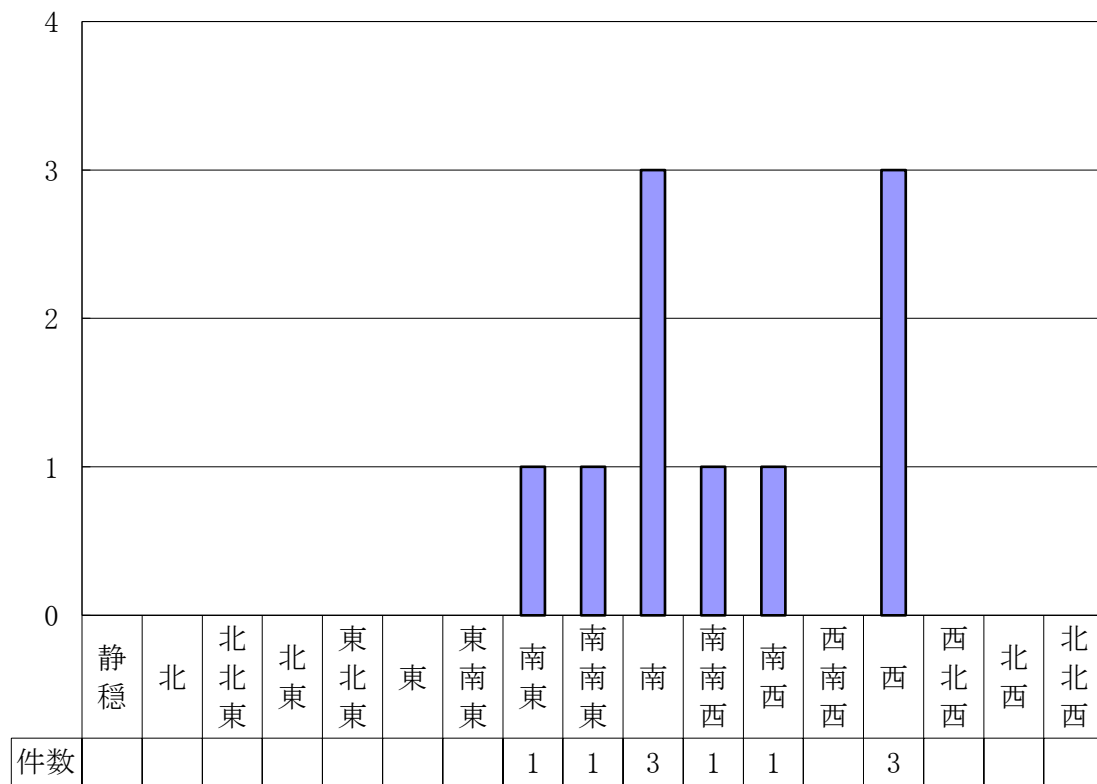
天 候



湿 度(相対)



風 向



(7) 火災記録明細表

発生番号	火災種別	出火月日	出火時刻	出火地区	出火原因	焼損面積	焼損棟数				死者数		損害額 (千円)
							全焼	半焼	部分焼	ぼや	死者	負傷者	
1	建物	3月5日	10:20	水原	焚火	28			(1)				293
2	その他	3月6日	19:15	安田	取灰								
3	建物	4月15日	21:45	水原	煙突	427	¹ (2)						29,073
4	建物	5月9日	23:20	笹神	コンセント	215	1		¹ (1)			1	10,937
5	建物	7月11日	7:50	安田	たばこ	232	¹ (1)		(3)		1		6,501
6	建物	8月12日	17:05	水原	コードリール	347	¹ (1)					2	5,784
7	建物	9月3日	0:43	水原	放火	189	1		(3)			1	4,210
8	その他	9月29日	14:00	笹神	火遊び								
9	建物	10月19日	17:40	笹神	放火	30			1				951
10	建物	12月16日	7:00	京ヶ瀬	たばこ	34			1		1		1,424
計	建物 8件			水原 4	焼 損 床面積	1,441 m ²	5 (4)		3 (8)		2	4	59,173
	林野 件			安田 2	焼 損 表面積	61 m ²							
	車両 件			笹神 3	林 野	a							
	その他 2件			京ヶ瀬 1	車 両	1 台							

※焼損棟数 () は非住宅

(8) 月別火災発生状況

種別 月別	火災件数					焼損棟数					り災世帯数				り災人員	死傷者数		
	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損		計	死者	負傷者
1																		
2																		
3	2	1			1	1			1									
4	1	1				3	3				1	1			2	0		
5	1	1				3	1		2		2	1		1	6	1		1
6																		
7	1	1				5	2		3		1	1			2	1	1	
8	1	1				2	2				1	1			4	2		2
9	2	1			1	4	1		3		2	1		1	7	1		1
10	1	1				1			1		1			1	2			
11																		
12	1	1				1			1		1			1	1	1	1	
計	10	8	0	0	2	20	9	0	11	0	9	5	0	4	24	6	2	4

令和元年	13	9	1	1	2	9	1	0	3	5	3	0	0	3	7	3	0	3
令和2年	10	8	0	0	2	20	9	0	11	0	9	5	0	4	24	6	2	4
増減	-3	-1	-1	-1	0	11	8	0	8	-5	6	5	0	1	17	3	2	1

種別 月別	焼損面積			損害額（千円）					
	建 物（㎡）		車林そ の 両野他	建 物		林 野	車 両	そ の 他	合 計
	床 面 積	表 面 積		建 物	収 容 物				
1									0
2									0
3		28		25	268				293
4	427			28,262	730			81	29,073
5	200	15	その他97㎡	8,784	2,153				10,937
6									0
7	217	15	車両1台、その他5㎡	6,275	83		139	4	6,501
8	347			4,153	1,631				5,784
9	186	3		4,022	188				4,210
10	30			906	45				951
11									0
12	34			1,396	28				1,424
計	1,441	61	その他102㎡ 車両1台	53,823	5,126	0	139	85	59,173

令和元年	184	0.92	林野4.1a 車両1台 廃棄物収容コンテナ 軌道上枕木	4,294	55	0	2,600	519	7,468
令和2年	1,441	61	車両1台 その他5㎡	53,823	5,126	0	139	85	59,173
増減	1257	60		49,529	5,071	0	-2,461	-434	51,705

(9) 地区別火災記録明細表

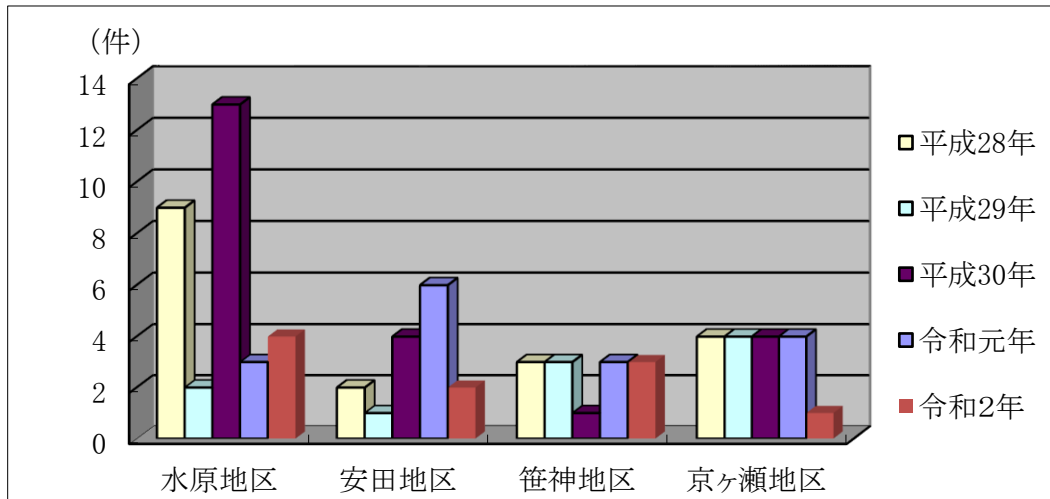
地区別			水原地区	安田地区	笹神地区	京ヶ瀬地区	合 計
種 別							
火災種別	建 物		4	1	2	1	8
	林 野						
	車 両						
	その他			1	1		2
	計		4	2	3	1	10
焼損棟数	全 焼		6	2	1		9
	半 焼						
	部分焼		4	3	3	1	11
	ぼ や						
	計		10	5	4	1	20
焼損面積	建 物	床面積(㎡)	960	217	230	34	1441
		表面積(㎡)	31	15	15		61
	林 野(a)						
	車 両(台)			1			1
	その他						
	損害額 (千円)	建 物	建 物	36,462	6,275	9,690	1,396
収容物			2,817	83	2,198	28	5,126
林 野							
車 両			139			139	
その他		81	4			85	
計		39,360	6,501	11,888	1,424	59,173	
り災世帯			4	1	3	1	9
り災人員			13	2	8	1	24
死 者				1		1	2
負傷者			3		1		4
※1	出動台数		31(20)	9(2)	13(4)	8(2)	61(28)
※1	放水台数		16(6)	4(1)	6(1)	2	28(8)
吏員出動数			135	28	45	28	236
団員出動数			113	42	32	5	192
※2	出火率		2.4				

※1 () は、消防団車両

※2 出火率 人口1万人当たりの出火件数

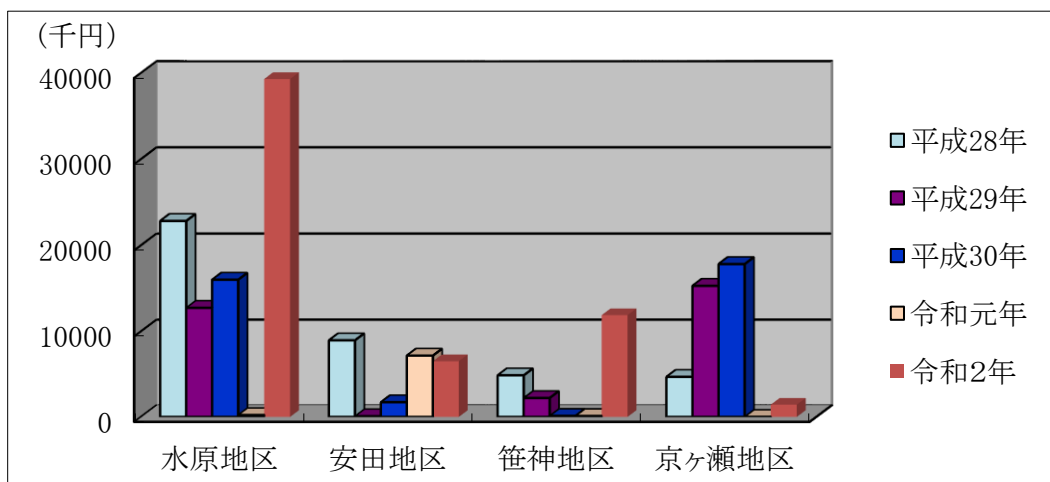
(10) 火災状況(5年間)

火災発生件数



	水原地区	安田地区	笹神地区	京ヶ瀬地区	計 (件)
平成28年	9	2	3	4	18
平成29年	2	1	3	4	10
平成30年	13	4	1	4	22
令和元年	3	6	3	4	16
令和2年	4	2	3	1	10
計	31	15	13	17	76

損 害 額



	水原地区	安田地区	笹神地区	京ヶ瀬地区	計 (千円)
平成28年	22,822	8,947	4,855	4,673	41,297
平成29年	12,745	73	2,203	15,303	30,324
平成30年	16,007	1,710	113	17,826	35,656
令和元年	210	7,158	100	0	7,468
令和2年	39,360	6,501	11,888	1,424	59,173
計	91,144	24,389	19,159	39,226	173,918

(11) 月別火災件数(5年間)

地区別	月別 年別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
水原地区	平成28年	1	1	1	2	1		1	1		1			9
	平成29年					2								2
	平成30年													0
	令和元年		1							1		1		3
	令和2年			1	1				1	1				4
安田地区	平成28年							1	1					2
	平成29年					1								1
	平成30年						1	1		2				4
	令和元年		1						1	2		1	1	6
	令和2年			1				1						2
笹神地区	平成28年						1			1		1		3
	平成29年					1		1	1					3
	平成30年					1								1
	令和元年	1				1				1				3
	令和2年					1				1	1			3
京ヶ瀬地区	平成28年	1			1				1	1				4
	平成29年					2			1					3
	平成30年			1	1								2	4
	令和元年											1		1
	令和2年												1	1
合 計		3	3	4	5	10	2	5	7	10	2	4	4	59

19. 危険物

(1) 製造所等の施設状況

令和3年3月31日現在

地区別	製造所等別 合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内 タンク 貯蔵所	屋外 タンク 貯蔵所	屋内 タンク 貯蔵所	地下 タンク 貯蔵所	簡易 タンク 貯蔵所	移動 タンク 貯蔵所	屋外 貯蔵所	小計	給油 取扱所	販売 取扱所	移送 取扱所	一般 取扱所
総計	269		161	22	21	1	64	1	50	2	108	44			64
本署管内	111		63	8	5		28		20	2	48	18			30
分署管内	158		98	14	16	1	36	1	30		60	26			34

(2) 製造所等の施設状況（年度別）

令和3年3月31日現在

年度別	製造所等別 合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
			小計	屋内 タンク 貯蔵所	屋外 タンク 貯蔵所	屋内 タンク 貯蔵所	地下 タンク 貯蔵所	簡易 タンク 貯蔵所	移動 タンク 貯蔵所	屋外 貯蔵所	小計	給油 取扱所	販売 取扱所	移送 取扱所	一般 取扱所
平成28年度	289		177	20	24	1	69	1	60	2	112	47			65
平成29年度	282		172	22	24	1	67	1	55	2	110	45			65
平成30年度	275		166	22	22	1	66	1	52	2	109	45			64
令和元年度	272		164	22	21	1	64	1	53	2	108	44			64
令和2年度	269		161	22	21	1	64	1	50	2	108	44			64
前年度 比較増減	－3		－3						－3						

(3) 製造所等の許可・完成検査・廃止等の状況

令和3年3月31日現在

種 別		製造所等別	合 計	製 造 所	貯蔵所							取扱所					
					小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地下 タンク 貯蔵所	簡易 タンク 貯蔵所	移動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
総 計			63		8				5		3		55	28			27
許可	設置																
	変更	22		2				2				20	10				10
完成 検査	設置																
	変更	22		2				2				20	10				10
仮使用承認		16		1				1				15	8				7
廃 止 届		3		3						3							

(4) 類別・製造所等の状況

令和3年3月31日現在

類別	製造所等別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所					
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
総計		269		161	22	21	1	64	1	50	2	108	44			64
第1類																
第2類																
第3類																
第4類		267		160	21	21	1	64	1	50	2	107	44			63
第5類		2		1	1							1				1
第6類																

(5) 数量別・製造所等の状況

令和3年3月31日現在

製造所等別 数量別	合 計	製 造 所	貯蔵所								取扱所				
			小 計	屋 内 貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋 外 貯蔵所	小 計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
総 計	269		161	22	21	1	64	1	50	2	108	44			64
5倍以下	129		96	7	6	1	31	1	50		33	3			30
5倍を越え 10倍以下	48		23	3	7		12			1	25	6			19
10倍を超え 50倍以下	60		36	9	8		18			1	24	13			11
50倍を超え 100倍以下	9		2				2				7	7			
100倍を超え 150倍以下	7		2	2							5	5			
150倍を超え 200倍以下	6		1				1				5	5			
200倍を超え 1000倍以下	10		1	1							9	5			4
1000倍を超え 5000倍以下															

(6) 危険物施設立入検査の状況

令和3年3月31日現在

地区別 製造所等別	合 計	製 造 所	貯蔵所								取扱所				
			小 計	屋 内 貯蔵所	屋外タンク 貯蔵所	屋内タンク 貯蔵所	地下タンク 貯蔵所	簡易タンク 貯蔵所	移動タンク 貯蔵所	屋 外 貯蔵所	小 計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
総 計	269		161	22	21	1	64	1	50	2	108	44			64
本署管内	111		63	8	5		28		20	2	48	18			30
分署管内	158		98	14	16	1	36	1	30		60	26			34

20. 防火対象物

(1) 150m²以上の防火対象物の状況 (その1)

令和3年3月31日現在

防火対象物の区分
--

(2) 防火管理者及び消防計画届出の状況 (その1)

防火管理者必要防火対象物	1	17	3	1	13	13	41	20	4			1	1
防火管理者を選任し届出ている 防火対象物	1	17	3	1	12	11	38	20	3			1	1
消防計画を作成し届出ている 防火対象物	1	17	3	1	12	10	35	20	1			1	

(3) 防火対象物立入検査の状況 (その1)

立入検査延べ件数	2	20	4	1	14	13	50	46	50	3	6	8
----------	---	----	---	---	----	----	----	----	----	---	---	---

(1) 150㎡以上の防火対象物の状況 (その2)

防火対象物の区分 消防用設備の区分	6										ニ 幼稚園又は特別支援学校
	ロ					ハ					
	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム	(2) 救護施設	(3) 乳児院	(4) 障害児入所施設	(5) 障害者支援施設	(1) 老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人介護支援センター	(2) 更生施設	(3) 助産施設、保育所、幼児連携型認定こども園、児童養護施設、児童自立支援施設	(4) 児童発達支援センター	(5) 身体障害者福祉センター、障害者支援施設、地域活動支援センター	
防火対象物総数	14				2	13		19	1	7	5

(2) 防火管理者及び消防計画届出の状況 (その2)

防火管理者必要防火対象物	14				1	10		18		1	4
防火管理者を選任し届出ている 防火対象物	14				1	10		18		1	4
消防計画を作成し届出ている 防火対象物	14				1	9		15		1	4

(3) 防火対象物立入検査の状況 (その2)

立入検査延べ件数	16				2	10		21	1	7	5
----------	----	--	--	--	---	----	--	----	---	---	---

(1) 150㎡以上の防火対象物の状況（その3）

防火対象物の区分 消防用設備の区分	7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		合 計
			イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ	
	小、中、高、大学校等各種学校の類	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	車両の停車場の類	神社、寺院、教会その他これらに類するもの	工場又は作業場	映画スタジオ又はテレビスタジオ	自動車車庫又は駐車場	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	倉庫	前各項に該当しない事業場	(一)イに掲げる以外の複合用途防火対象物 (四)イが存する複合用途防火対象物 (五)イ (六)イ (九)イ		
防火対象物総数	34	4		4	2	53	349		16		236	335	120	63	1603

(2) 防火管理者及び消防計画届出の状況（その3）

防火管理者必要防火対象物	14	4		1		32	17				31	28	5	295
防火管理者を選任し届出ている防火対象物	14	4		1		32	16				31	26	5	285
消防計画を作成し届出ている防火対象物	11	4		1		32	16				27	25	5	266

(3) 防火対象物立入検査の状況（その3）

立入検査延べ件数	27	5		5	1	41	216		15		130	138	27	18	902
----------	----	---	--	---	---	----	-----	--	----	--	-----	-----	----	----	-----

(4) 消防用設備等着工届受理状況

令和2年3月31日現在

設 備 \ 月 別	計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計													
屋内消火栓設備													
スプリンクラー設備													
屋外消火栓設備													
自動火災報知設備													
火災通報装置													
パッケージ型消火設備													

(5) 消防用設備等設置届受理状況

令和2年3月31日現在

設 備 \ 月 別	計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
計													
消 火 器 具													
屋内消火栓設備													
スプリンクラー設備													
屋外消火栓設備													
自動火災報知設備													
火災通報装置													
非常警報設備													
誘 導 灯													
誘 導 標 識													
パッケージ型消火設備													
動力消防ポンプ設備													

(6) 火災予防条例施行規則に基づく届出状況

令和3年3月31日現在

月別	月計	区分	防火対象物使用開始届出書	炉・ボイラー・乾燥設備等設置届出書	発電設備・変電設備・蓄電池設備等設置届出書	火災とまぎらわしい煙又は火災を発生するおそれのある行為の届出書	煙火打上げ・仕掛け届出書	催物開催届出書	露店等の開設届出書	少量危険物貯蔵・指定可燃物取扱い届出書	危険物仮貯蔵仮取扱承認申請書	タンク検査申請書	少量危険物貯蔵・指定可燃物取扱い廃止届出書
年計	117		15	10	23	35	11			14	1		8
4	4			2						2			
5	2		1				1						
6	9	2	1	3	2								1
7	6	2	1	1	2								
8	14	2		3			8						1
9	7	1	1		1	1					1		2
10	13	1	1		5	1				4			1
11	19	1	3	9	1					5			
12	12	3			9								
1	10	1		1	6					1			1
2	6	1		1	3					1			
3	15	1	2	3	6					1			2

21. 建築確認申請同意処理状況

(1) 用途別同意件数

令和3年3月31日現在

別表第1区分		地区別	水 地	原 区	安 地	田 区	笹 地	神 区	京ヶ 地	瀬 区	計
1	イ	劇場、映画館、演劇場又は観覧場									
	ロ	公会堂又は集会場									
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ その他これらに類するもの									
	ロ	遊技場又はダンスホール									
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗									
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は 物品を個室において客に利用させる役務を提供 する業務を営む店舗									
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの									
	ロ	飲食店						1			1
4		百貨店、マーケットその他の物品販売業を 営む店舗又は展示場				1					1
5	イ	旅館、ホテル又は宿泊所 その他これらに類するもの									
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅		9							9
6	イ	(1) 診療科目中に特定診療科目名の一般病床 を有する病院									
		(2) 診療科目中に特定診療科目名の一般病床を有し四 人以上の患者を入院させるための施設									
		(3) 患者を入院させるための施設を有する診 療所又は助産所									
		(4) 患者を入院させるための施設を有しない 診療所又は助産所									
	ロ	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム、 特別養護老人ホーム									
		(2) 救護施設									
		(3) 乳児院									
		(4) 障害児入所施設									
		(5) 障害者支援施設									
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター、老人福祉セン ター、老人介護支援センター									
		(2) 更生施設									
		(3) 助産施設、保育所、幼保連携型認定こども園、 児童養護施設、児童自立支援施設		2							2
		(4) 児童発達支援センター									
		(5) 身体障害者福祉センター、障害者支援施設、 地域活動支援センター									
	ニ	幼稚園又は特別支援学校									

7	小、中、高、大学校等各種学校の類					
8	図書館、博物館、美術館 その他これらに類するもの					
9	イ 公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場の類					
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					
10	車両の駐車場の類					
11	神社、寺院、教会その他これらに類するもの					
12	イ 工場又は作業場	4	6	1		11
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ					
13	イ 自動車車庫又は駐車場		1			1
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫					
14	倉 庫	1	1	3	4	9
15	前各項に該当しない事業所	2		1	1	4
16	イ (一)～(四)、(五)イ、(六)、(九)イが 存する複合用途防火対象物			1	1	2
	ロ イに掲げる以外の複合用途防火対象物				2	2
小 計		18	9	7	8	42
そ の 他		18	10	10	10	48
専 用 住 宅						
合 計		36	19	17	18	90
前 年 度 合 計		33	23	21	11	88

(2) 構造別同意件数

令和2年度

地区別 構造別	水 原 区 地 区	安 田 区 地 区	笹 神 区 地 区	京ヶ瀬 区 地 区	計
木 造 1 階 建	2	6	5	3	16
木 造 2 階 建	14	4	1	4	23
木 造 3 階 建					
木 造 一 部 鉄 骨 造			1		1
木 造 一 部 鉄 骨 造 2 階 建					
鉄筋コンクリート1階建					
鉄筋コンクリート2階建					
鉄筋コンクリート3階建					
鉄筋コンクリート地階					
鉄筋コンクリート一部鉄骨造1階					
鉄筋コンクリート一部鉄骨造3階					
鉄 骨 造 1 階 建	10	7	3	7	27
鉄 骨 造 2 階 建	4	1			5
鉄 骨 造 3 階 建					
鉄 骨 造 4 階 建					
鉄 骨 造 6 階 建					
鉄骨造一部ブロック造2階建					
鉄骨造一部鉄筋コンクリート4階建					
軽 量 鉄 骨 造 1 階 建		1	6	2	9
軽 量 鉄 骨 造 2 階 建					
鉄 骨 一 部 木 造 1 階 建				1	1
鉄 骨 一 部 木 造 2 階 建			1		1
骨 組 膜 構 造 1 階					
アルミニウム合金造	2			1	3
ア ル ミ 造 1 階 建	4				4
そ の 他					
合 計	36	19	17	18	90

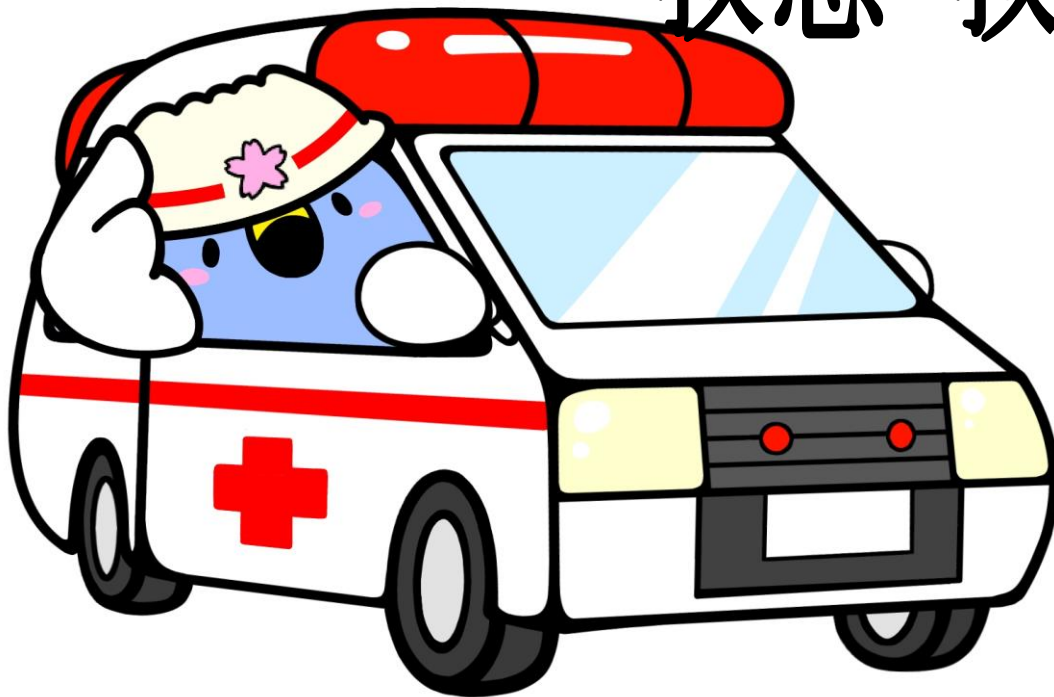
(3) 工事別同意件数

令和3年3月31日現在

地区別 工事別	水 原 区	安 田 区	笹 神 区	京ヶ瀬 地 区	計
新 築	30	13	16	17	76
改 築	3	2			5
増 築	2	3	1	1	7
移 築		1			1
用途変更	1				1
大規模の修繕、増築					
その他（工作物）					
合 計	36	19	17	18	90

不同意件数 なし

救急・救助



【令和2年の概況】

救 急

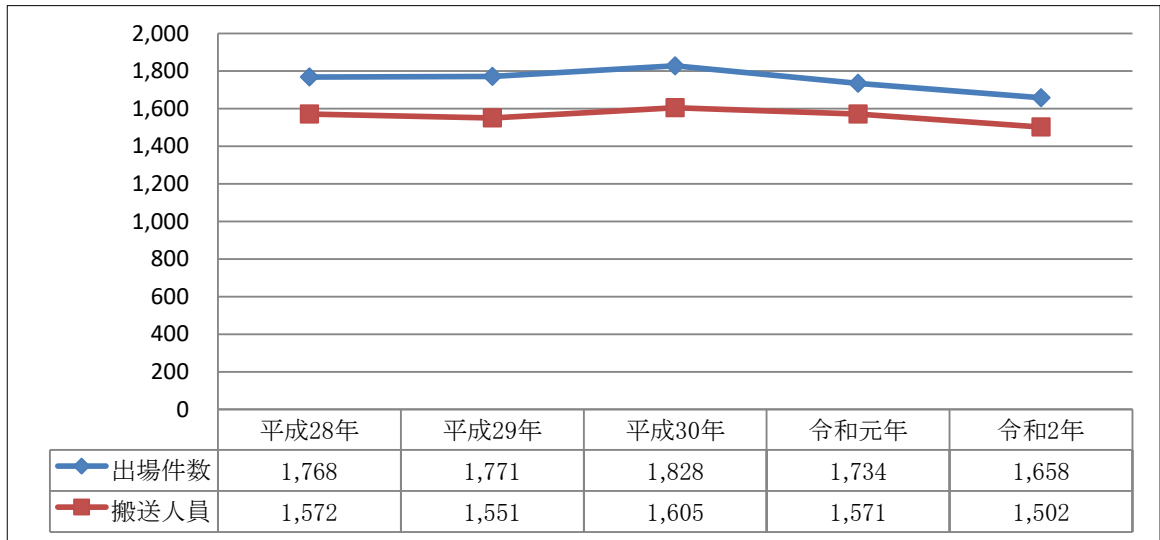
- 出場件数は1,658件で前年比較76件減。搬送人員は1,502人で前年比較69人減。出動件数、搬送人員ともに減少した。
- 搬送人員のうち、高齢者が1,013人で前年比較1人減、全体の67.4%を占めている。
- 搬送人員のうち、軽症が696人で前年比較30人減、全体の46.3%を占めている。
- 医療機関への搬送状況は、468人(31.1%)が管内の医療機関へ、1,034人(68.9%)が管外の医療機関に搬送されている。

救 助

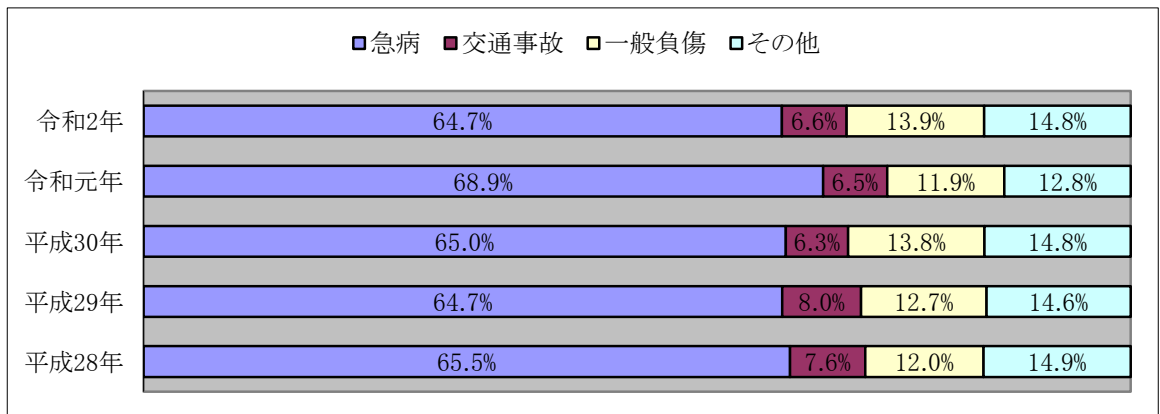
- 出動件数は20件で前年比較4件減。交通事故10件、水難事故1件、建物等による事故1件、その他8件であった。
- 活動件数は13件で前年比較4件減。交通事故5件、水難事故1件、建物等による事故1件、その他6件であった。

22. 救急統計

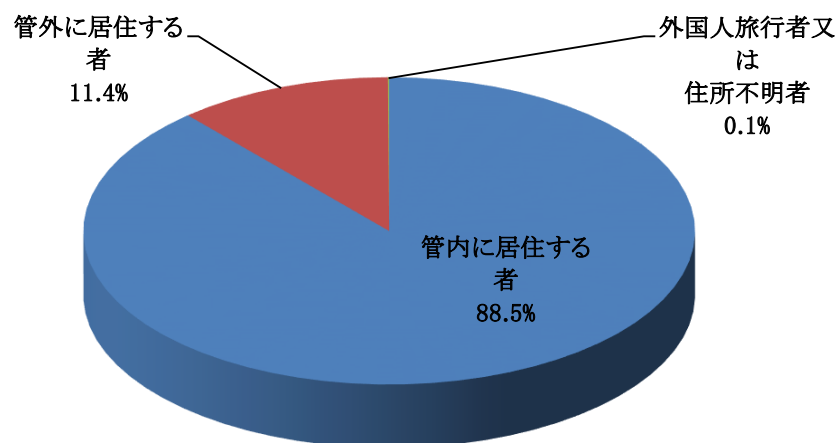
(1) 出場件数、搬送人員状況(5年間)



(2) 主な事故種別割合(5年間)



(3) 傷病者の住所別搬送状況

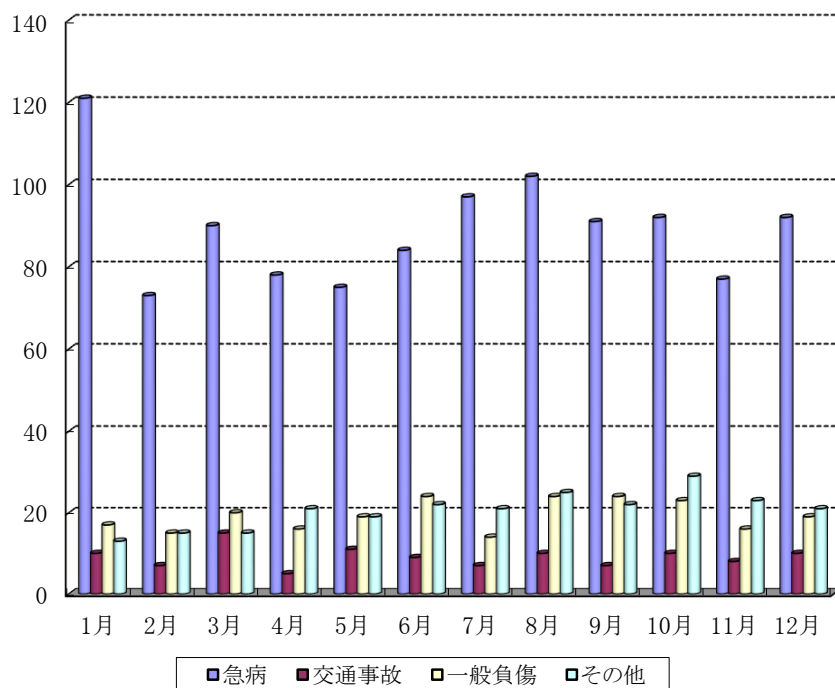


(4) 令和2年救急出場状況

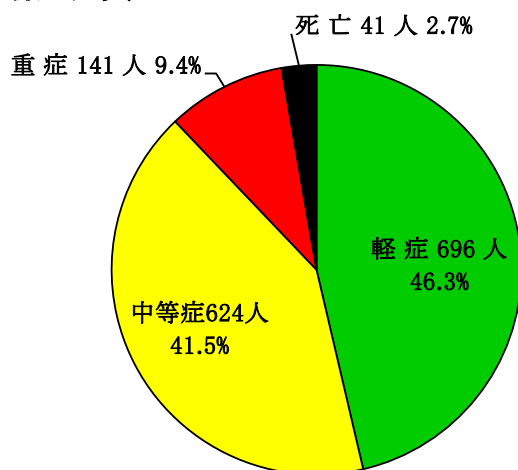
区 分		合 計	救 急 種 別											不 搬 送	備 考
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 災	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他		
1月	出動件数	161	1			10	1		17		2	121	9	19	
	搬送人員	142				6	1		16		2	108	9		
2月	出動件数	110				7	3		15		3	73	9	7	
	搬送人員	103				7	3		14		1	69	9		
3月	出動件数	140	1			15			20		2	90	12	11	
	搬送人員	129				17			18		2	80	12		
4月	出動件数	120	1			5	3		16			78	17	11	
	搬送人員	109				4	3		14			71	17		
5月	出動件数	124	1		2	11	2		19		2	75	12	13	
	搬送人員	111	1			10	2		16		1	69	12		
6月	出動件数	139				9	3		24			84	19	13	
	搬送人員	126				8	3		24			73	18		
7月	出動件数	139	2			7			14		2	97	17	13	
	搬送人員	126				7			13			91	15		
8月	出動件数	161	2			10			24		3	102	20	9	
	搬送人員	152	1			11			23		2	98	17		
9月	出動件数	144	1		1	7	1	1	24		2	91	16	16	
	搬送人員	128	1			6	1		21			83	16		
10月	出動件数	154	3			10	4	2	23	1	2	92	17	11	
	搬送人員	143	1			10	4	2	21		1	87	17		
11月	出動件数	124				8			16		3	77	20	15	
	搬送人員	109				8			15		1	66	19		
12月	出動件数	142	1			10	1		19		5	92	14	18	
	搬送人員	124				9	1		18		3	82	11		
合計	出動件数	1,658	13		3	109	18	3	231	1	26	1,072	182	156	
	搬送人員	1,502	4			103	18	2	213		13	977	172		
比率	出動件数	100%	0.8%		0.2%	6.6%	1.1%	0.2%	####	0.1%	1.6%	####	####	9.4%	
	搬送人員	100%	0.3%			6.9%	1.2%	0.1%	####		0.9%	####	####		

(5) 月別出場状況

(件)

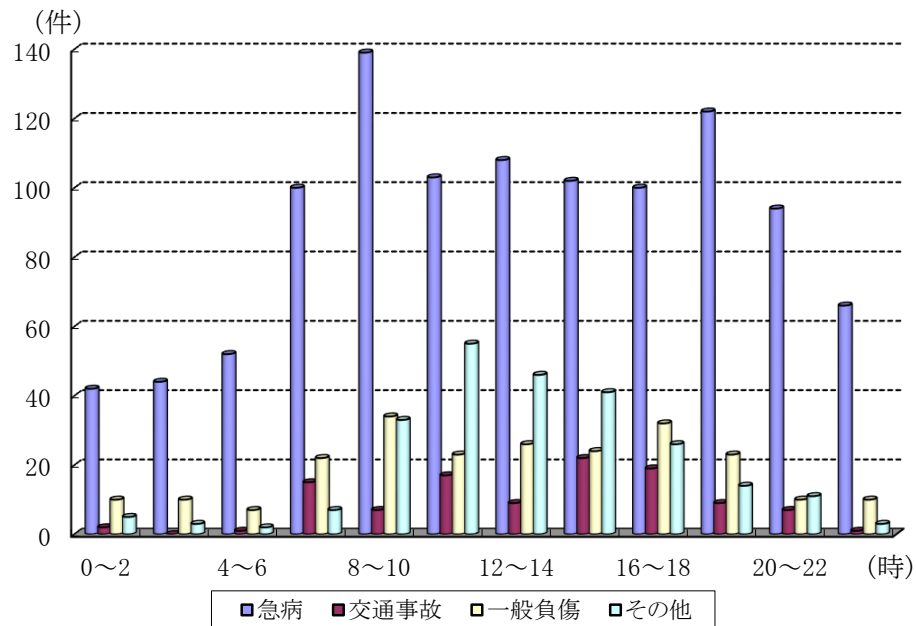


(6) 傷病程度別搬送人員

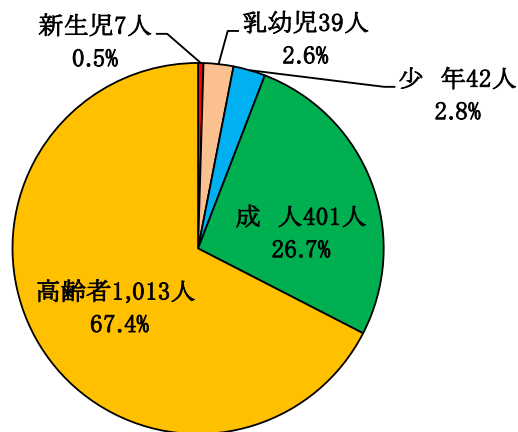


	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
軽症	480	79	109	28	696
中等症	369	14	87	154	624
重症	91	9	17	24	141
死亡	37	1	0	3	41
計	977	103	213	209	1,502

(7) 覺知時刻別出場件数

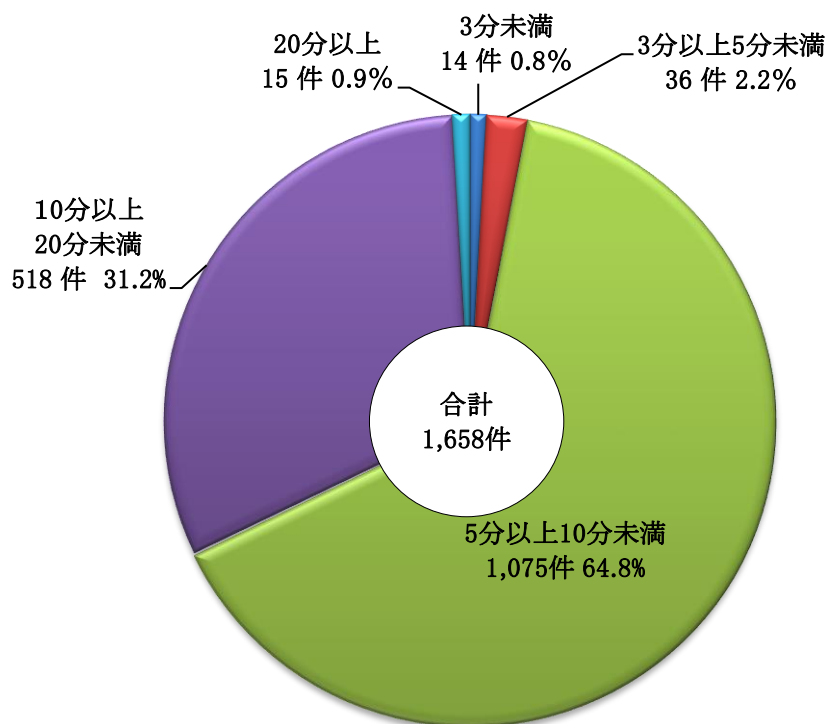


(8) 事故種別・年齢区分別搬送人員



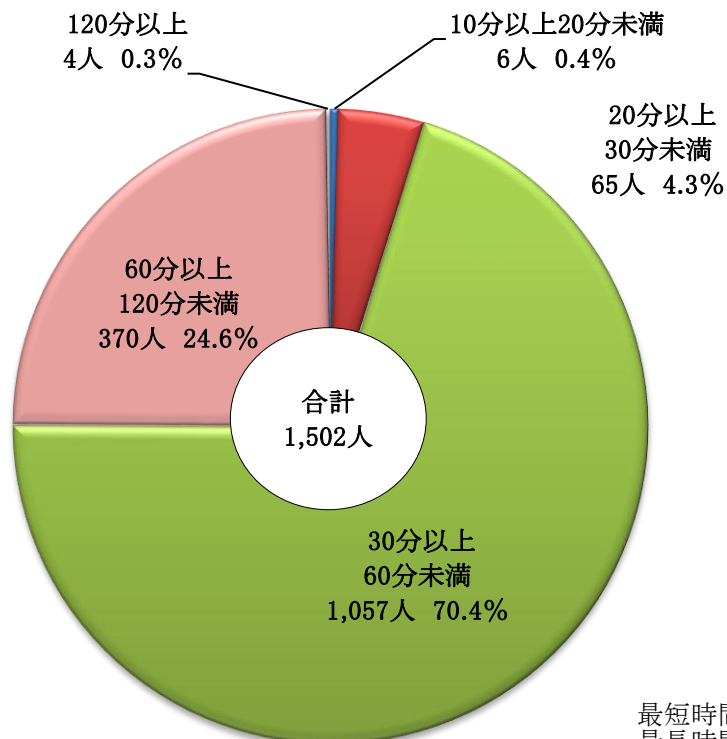
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災				1	3	4
自然災害						
水難						
交通事故		1	11	56	35	103
労働災害				14	4	18
運動競技			2			2
一般負傷		6	5	46	156	213
加害						
自損行為			1	10	2	13
急病	2	31	22	236	686	977
その他	5	1	1	38	127	172
合計	7	39	42	401	1,013	1,502

(9) 現場到着所要時間別出場件数



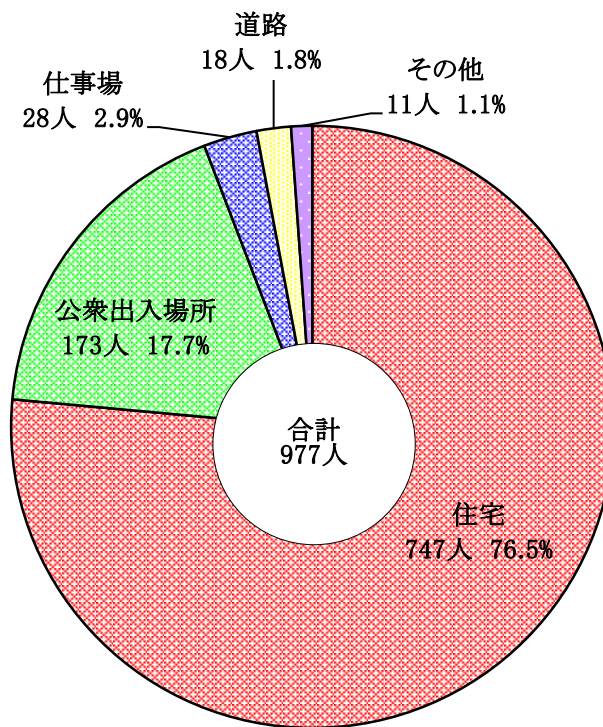
平均所要時間 (R2)	8.6分
新潟県平均所要時間 (R1)	8.9分
全国平均所要時間 (R1)	8.7分

(10) 収容所要時間別搬送人員

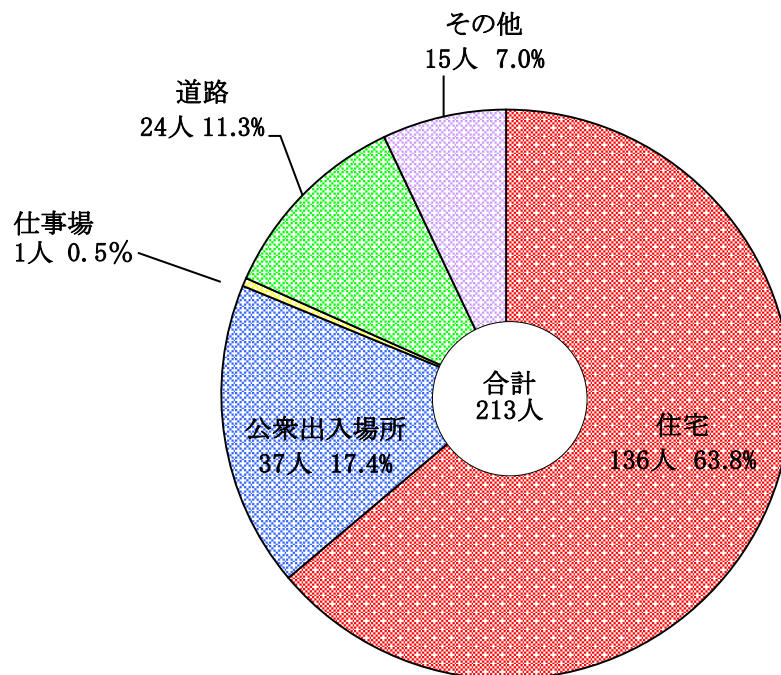


最短時間 (R2)	13分
最長時間 (R2)	154分
平均所要時間 (R2)	51.4分
新潟県平均収容所要時間 (R1)	44.0分
全国平均収容所要時間 (R1)	39.5分

(11) 急病、発生場所別搬送人員



(12) 一般負傷、発生場所別搬送人員



(13) 応急処置等の状況

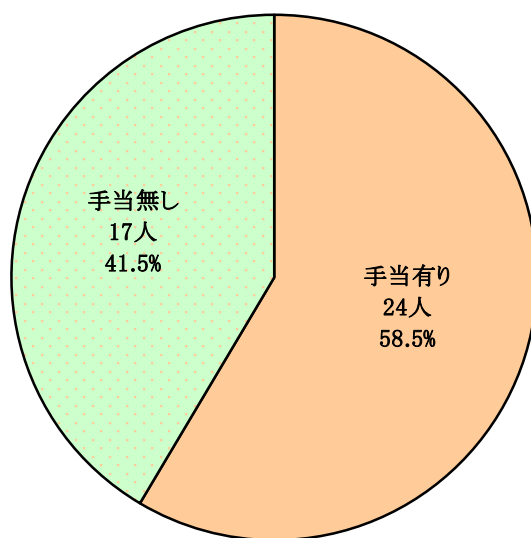
	急 病	交通事故	一般負傷	その他	合 計
止 血	10	6	25	13	54
固 定	3	59	18	5	85
人 工 呼 吸	5	0	1	0	6
胸 骨 圧 迫	1	1	0	1	3
心 肺 蘇 生	36	0	1	3	40
酸 素 吸 入	248	15	17	55	335
気 道 確 保	63	0	4	4	71
保 温	10	0	2	2	14
被 覆	11	19	48	18	96
在宅療法継続	5	0	1	2	8
除 細 動	5	0	0	1	6
静脈路確保（輸液CPA前後）	41	1	0	2	44
薬 剤 投 与	14	0	0	0	14
その他の応急処置	968	101	209	203	1,481
血 圧 測 定	922	101	209	199	1,431
聴診器による心音等の聴取	405	49	27	51	532
血中酸素飽和濃度測定	943	102	211	202	1,458
心電図測定	938	89	172	188	1,387
血 糖 測 定	31	0	0	1	32
ブドウ糖投与	7	0	0	1	8
処 置 合 計	4,666	543	945	951	7,105

(14) 磐越自動車道における救急出動状況

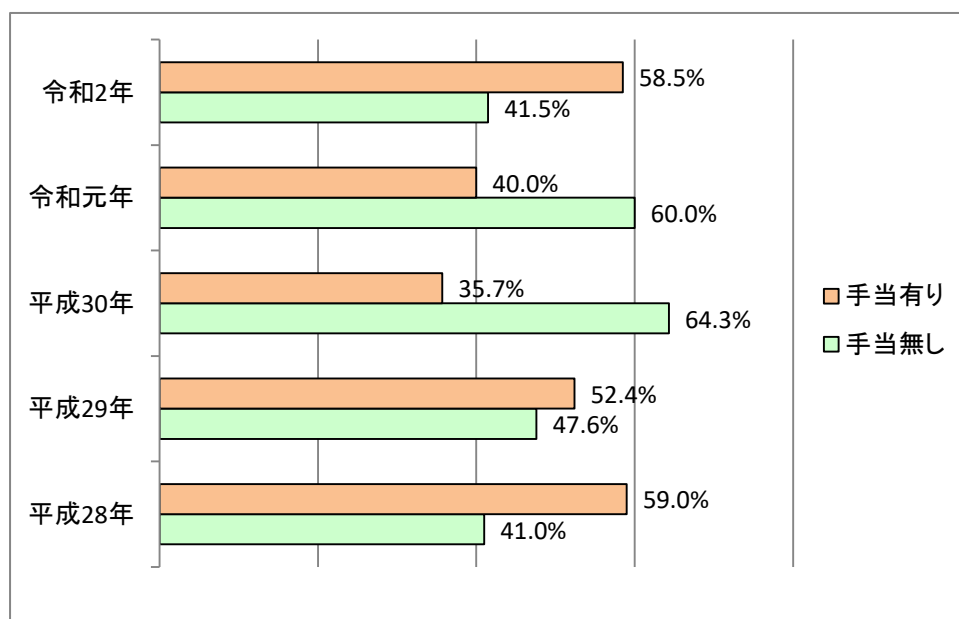
福島県へ		管轄区域 24.5km		新潟中央JCへ	
三川IC		上り	安田IC	下り	新津IC
174KP			188.9KP		198.5KP
応援出動(阿賀町消防本部)			応援出動(新潟市消防局)		
出動件数	0件	出動件数	10件	出動件数	0件
搬送人員	0人	搬送人員	12人	搬送人員	0人

(15) CPA症例の状況

(ア) バイスタンダーによる応急手当等



(イ) バイスタンダーによる応急手当等の年別比較 (5年間)



(16) 応急手当普及活動状況

令和2年 講習別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和2年計	令和元年	平成30年	平成29年
上級講習	回数																
	人員																
普通救命講習	回数		4	2			1	3		2	4	1	2	19	20	27	16
	人員		84	12			17	53		32	45	9	8	260	458	472	358
救命入門コース	回数	3	3	1			2	1	1	4	1			16	25	23	29
	人員	146	35	1			26	11	9	90	6			324	547	664	701
応急手当講習	回数		1		3		6	2				4	3	19	63	52	49
	人員		26		71		109	17				37	61	321	1,358	1,282	1,068
計	回数	3	8	3	3		9	6	1	6	5	5	5	54	108	102	94
	人員	146	145	13	71		152	81	9	122	51	46	69	905	2,363	2,418	2,127

23. 収容状況

(1) 収容状況

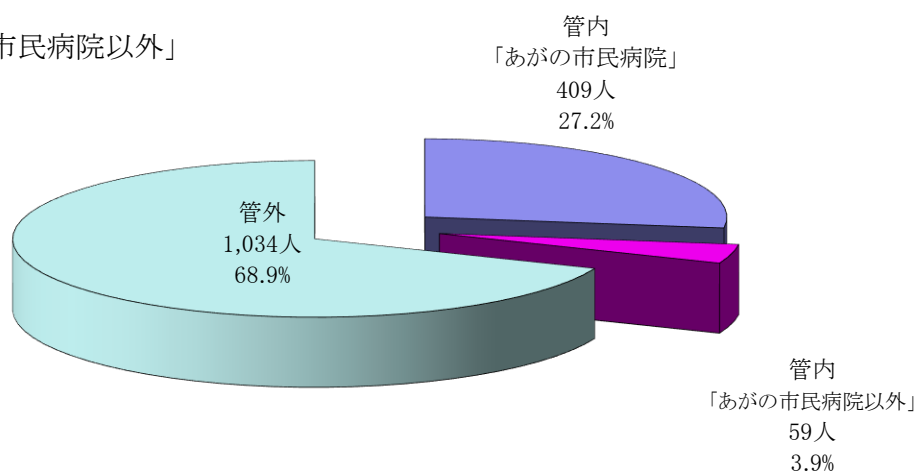
(単位:人)

	管 内			管 外		
救急医療機関	国 立			国 立		10
	公 立			公 立		683
	公 的			公 的		20
	私 的	病 院		私 的	病 院	293
		診療所			診療所	
	計			計		1, 006
その他の医療機関	国 立			国 立		
	公 立			公 立		12
	公 的		409	公 的		
	私 的	病 院	4	私 的	病 院	8
		診療所	55		診療所	8
	計		468	計		28
合計	468			1, 034		
その他の場所	接骨院等			接骨院等		
	その他			その他		
	計			計		
総計	1, 502					

■管内「あがの市民病院」

■管内「あがの市民病院以外」

□管 外

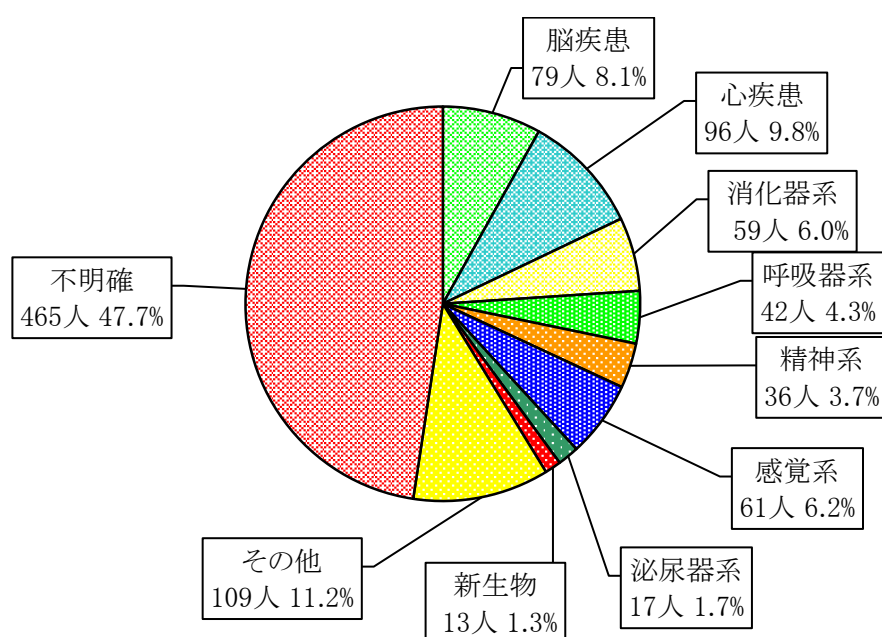


(2) 事故種別転送回数搬送人員

(単位:人)

	急 病	交 通	一般負傷	その他	計
0 回	974	103	213	209	1,499
1 回	3				3
2 回					
3 回以上					
計	977	103	213	209	1,502

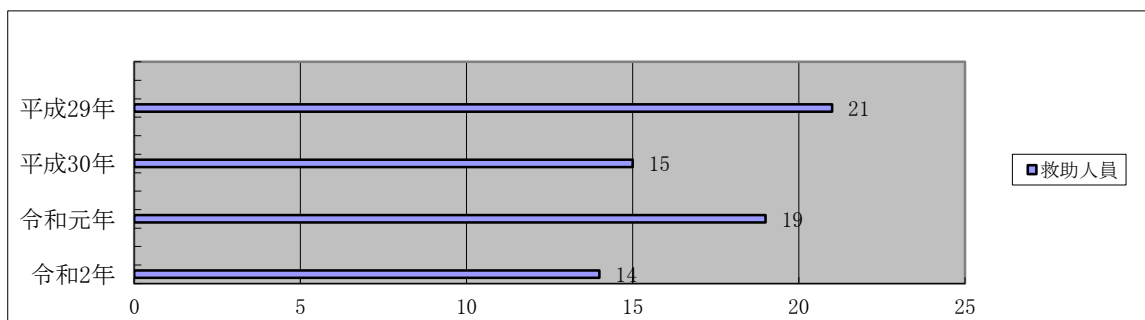
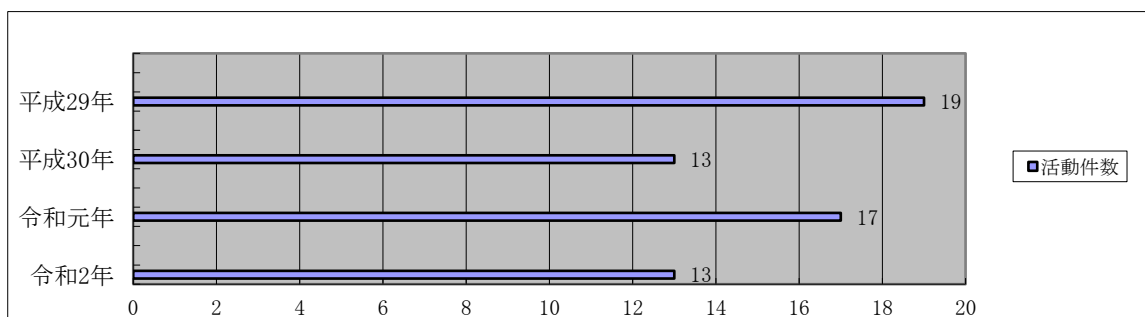
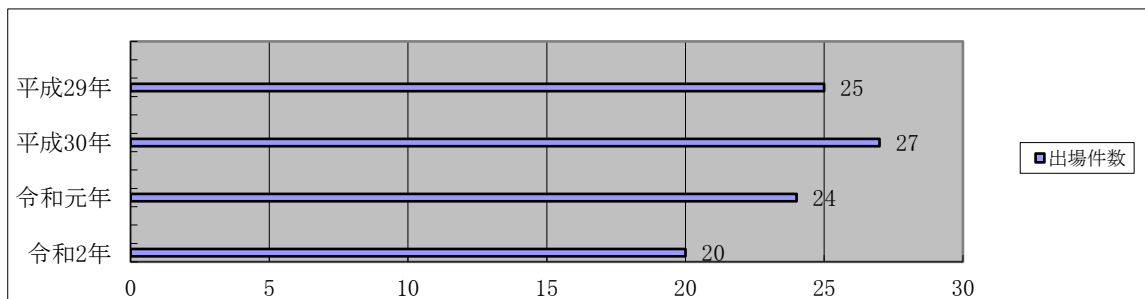
(3) 急病に係る疾病分類と搬送人員



24. 救助統計

(1) 救助活動状況

		火 建 物	災 建 物 以 外	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	破 裂 事 故	そ の 他	計
平成29年	出動件数			13	4		1	1				6	25
	活動件数			8	3		1	1				6	19
	救助人員			11	2		1	1				6	21
平成30年	出動件数			17	3		1					6	27
	活動件数			9			1					3	13
	救助人員			11			1					3	15
令和元年	出動件数			15	4							5	24
	活動件数			11	4							2	17
	救助人員			13	4							2	19
令和2年	出動件数			10	1			1				8	20
	活動件数			5	1			1				6	13
	救助人員			6	1			1				6	14





- 平成 16 年 4 月 1 日、町村合併により阿賀野市が誕生したことに伴い、消防団も 4 つの消防団（水原町消防団、安田町消防団、笹神村消防団、京ヶ瀬村消防団）が 1 つになり、阿賀野市消防団が誕生した。
- 平成 17 年度に女性消防団、女性部「阿賀さくら」が発足。
部長 1 名、班長 1 名、団員 10 名の計 12 名で各種消防団行事への参加や一人暮らし高齢者宅、市内保育施設での防火啓発活動などの予防業務、また、市民を対象とした普通救命講習会へ参加することで応急手当の普及に取り組んでいる。
- 平成 19 年度から平成 21 年度の 3 年計画で組織の見直しを行った。
平成 22 年度では条例定数 798 名、13 分団、76 部であったが、平成 27 年度に指導体制強化を図るため、副分団長を各部 2 名体制とし条例定数を 810 名とした。
平成 30 年度から組織の安定と強化、団員の安全確保のため、次の変更を行った。
 - ① 年齢の上限の目安を 45 歳から 55 歳にした。
 - ② 安田第 3 分団第 5 部の管轄自治会の一部を変更した。
 - ③ 防火外とうを全団員に、また、防火ヘルメットを各部 4 個配備することとした。
- 年間を通じた主な行事は春、秋季火災予防運動に合わせた防火広報、出水期における水防工法演習、ポンプの操作技術を競う消防大会や阿賀野市総合防災訓練、消防団伝統行事の出初式などがある。
- 平成 27 年度から小型動力ポンプ付積載車の更新を順次進め、39 台を市内各部に配備した。

25. 消防団員数・年報酬等調べ

(1) 年報酬

令和2年4月1日現在(単位：円)

区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
阿賀野市	119,500	76,400	48,300	41,800	33,600	18,500	14,000

(2) 諸手当 (1回又は1日につき)

令和2年4月1日現在(単位：円)

区分	会 議	訓 練	災害出動	警 戒	捜 索
阿賀野市	3,000	4時間未満 3,000 4時間以上 5,400	3,000	3,000	3,000

(3) 消防団員数

令和2年4月1日現在(単位：人)

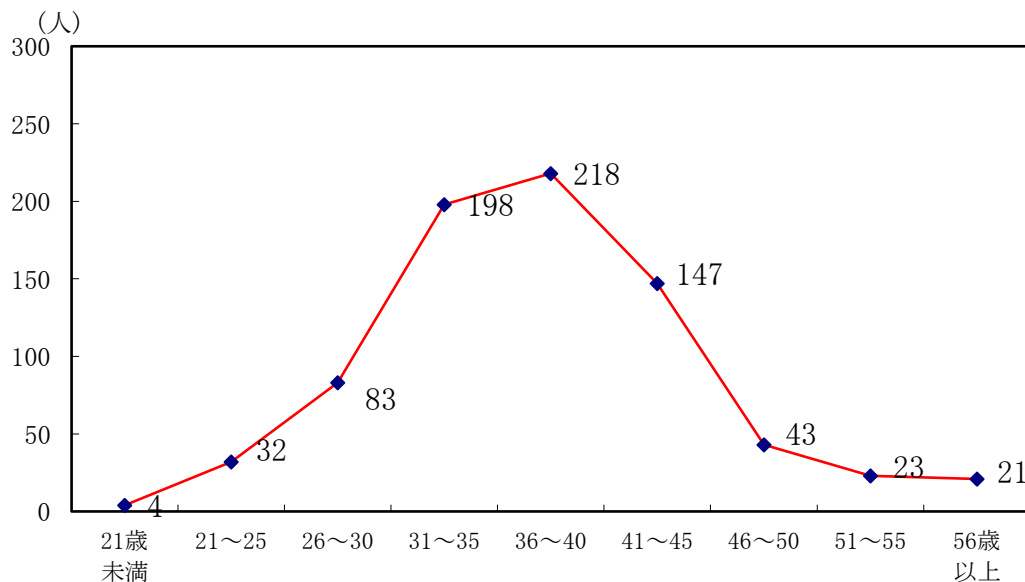
区分	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合計	定員
阿賀野市	1	2	13	25	76	77	575	769	810

(4) 年齢別消防団員数

令和2年4月1日現在(単位：人)

区分	21歳未満	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56歳以上
阿賀野市	4	32	83	198	218	147	43	23	21

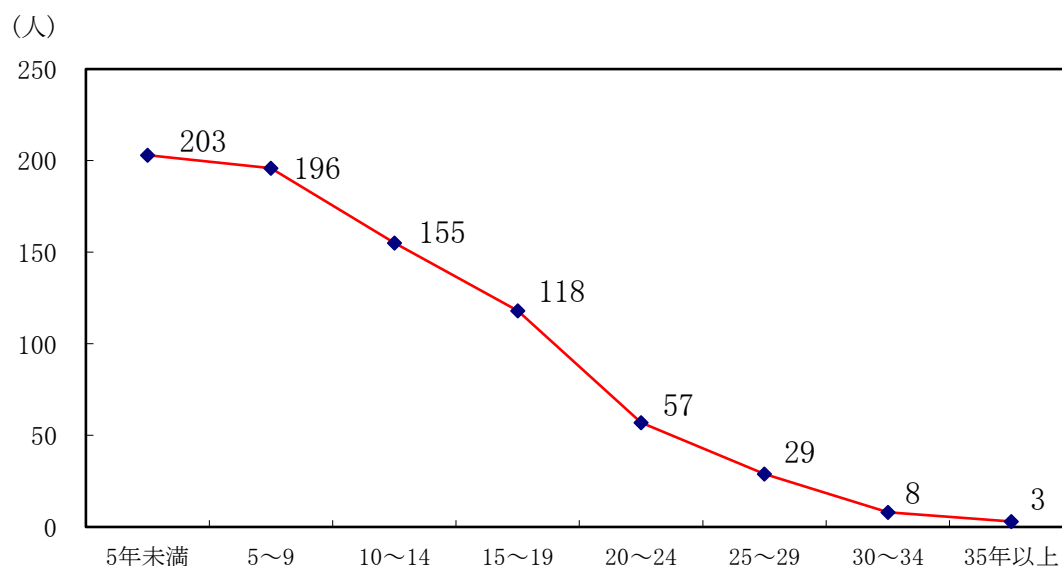
平均年齢 (37.5歳)



(5) 在職年数別消防団員数

(単位：人)

区分	5年未満	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35年以上
阿賀野市	203	196	155	118	57	29	8	3



26. 消防団機械器具

(単位：台)

区分	消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ積載自動車
阿賀野市	1	0	76

備考 ①平成27年2月1日 消防庁所有の救助資機材搭載型消防ポンプ自動車に入れ替える。
 ②平成27年度から小型動力ポンプ付積載車の更新を進め、39台を市内各部へ配備した。



- 気象については、「阿賀野市消防署」及び「かがやき分署」で記録したものです。
安田地区の気象について、阿賀野川沿いに吹き降ろす南東の風は、「安田ダシ」と言われる名物的な風で、特異な気象状況です。
- 天候（阿賀野市消防署で朝 9 時現在の観測データ）
晴れの日数は、97 日で前年比較 40 日減。
曇りの日数は、215 日で前年比較 38 日増。
雨の日数は、48 日で前年比較 15 日増。
雪の日数は、6 日で前年比較 12 日減。
- 降水量は、1394.0 mm で前年比較 456.5 mm 増。（1、2、3、12 月冬期間観測休止）
日最大降水量は、7 月 31 日の 88.5 mm。
（阿賀野市消防署での観測データ）
- 年降雪量は、591.0 cm で前年比較 575.0 cm 増。
日最大降雪量は、1 月 9 日の 95.0 cm。
（阿賀野市消防署での観測データ）

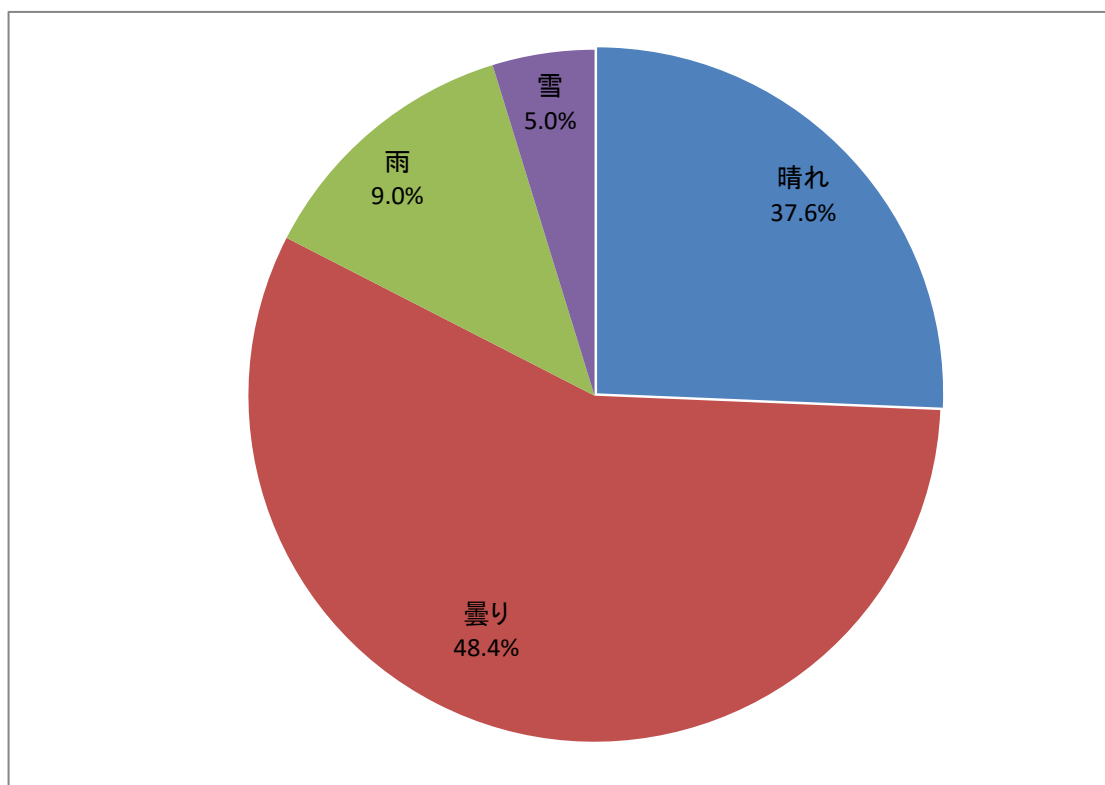
27. 気象状況

(1) 月別天候(9時現在) (3年間)

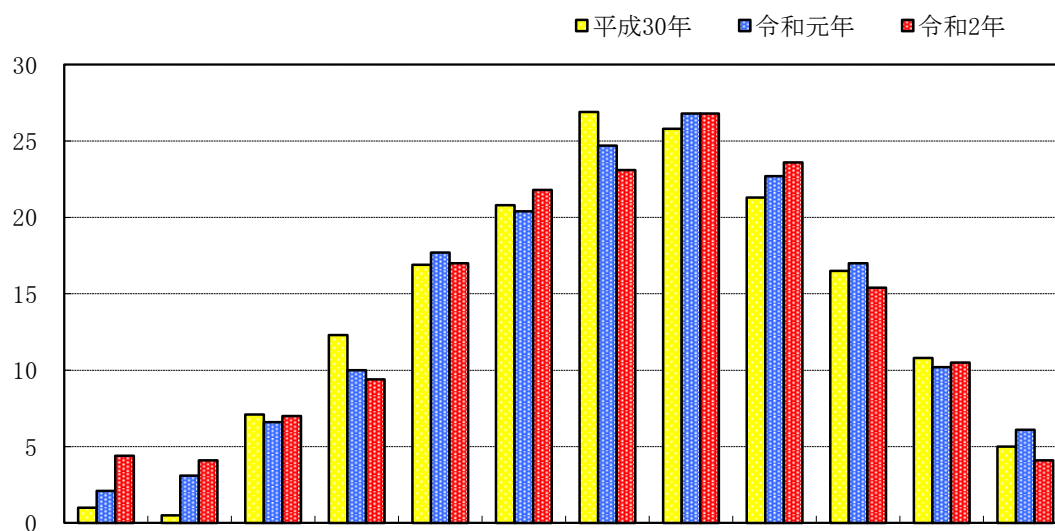
(単位:日)

天候	晴れ			曇り			雨			雪		
	平成 30年	令和 元年	令和 2年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	平成 30年	令和 元年	令和 2年	平成 30年	令和 元年	令和 2年
1	9	2	6	12	21	17	3	2	7	7	6	1
2	9	7	5	10	19	17	2	0	4	7	2	3
3	14	9	11	12	17	15	5	1	4	0	4	1
4	8	11	9	17	13	16	4	1	5	1	5	0
5	12	24	11	13	6	18	6	1	2	0	0	0
6	12	11	9	16	17	18	2	2	3	0	0	0
7	16	7	1	15	21	21	0	3	9	0	0	0
8	14	17	16	15	9	12	2	5	3	0	0	0
9	6	11	11	18	17	17	6	2	2	0	0	0
10	12	13	9	12	13	19	7	5	3	0	0	0
11	11	14	6	14	11	22	5	5	2	0	0	0
12	6	11	3	19	13	23	4	6	4	2	1	1
合計	129	137	97	173	177	215	46	33	48	17	18	6

(2) 天候割合(9時現在)



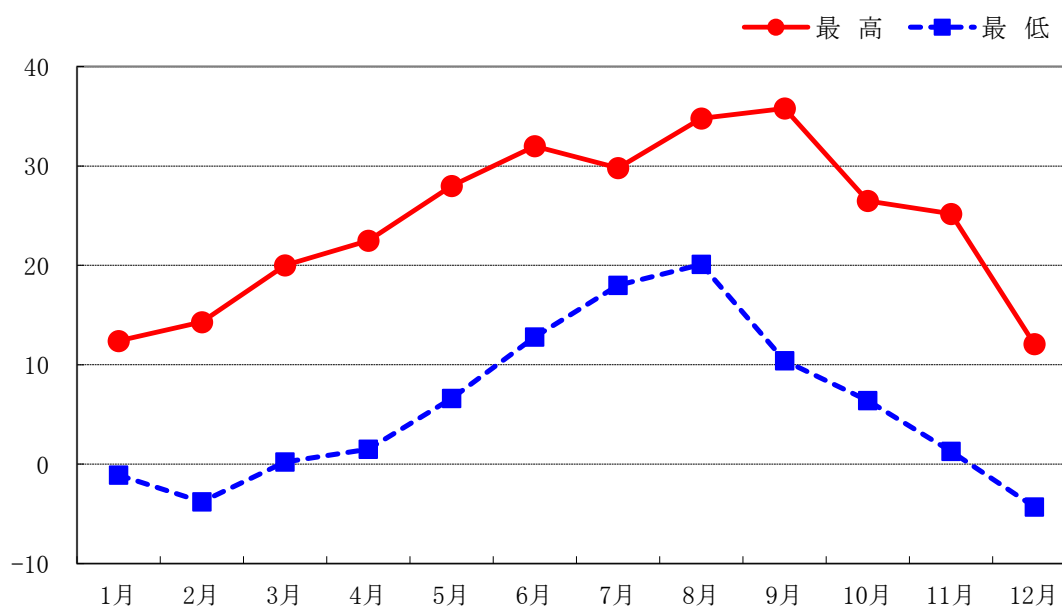
(3) 月別平均気温(3年間)



(単位:℃)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成30年	1.0	0.5	7.1	12.3	16.9	20.8	26.9	25.8	21.3	16.5	10.8	5.0
令和元年	2.1	3.1	6.6	10.0	17.7	20.4	24.7	26.8	22.7	17.0	10.2	6.1
令和2年	4.4	4.1	7.0	9.4	17.0	21.8	23.1	26.8	23.6	15.4	10.5	4.1

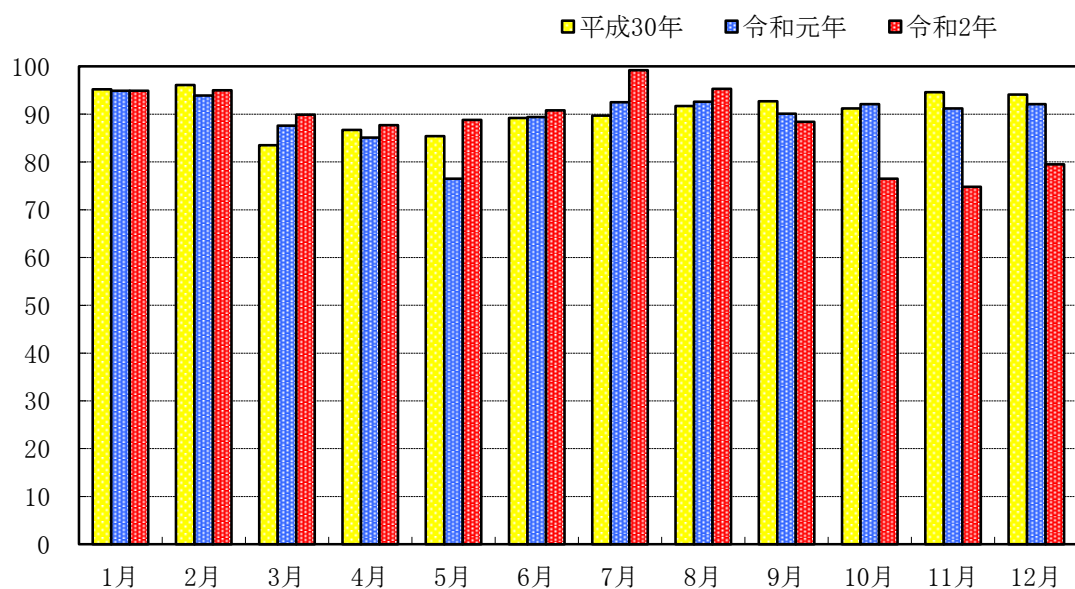
(4) 月別最高・最低気温



(単位:℃)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高	12.4	14.3	20.0	22.5	28.0	32.0	29.8	34.8	35.8	26.5	25.2	12.1
最低	-1.1	-3.8	0.2	1.5	6.6	12.8	18.0	20.1	10.4	6.4	1.3	-4.3

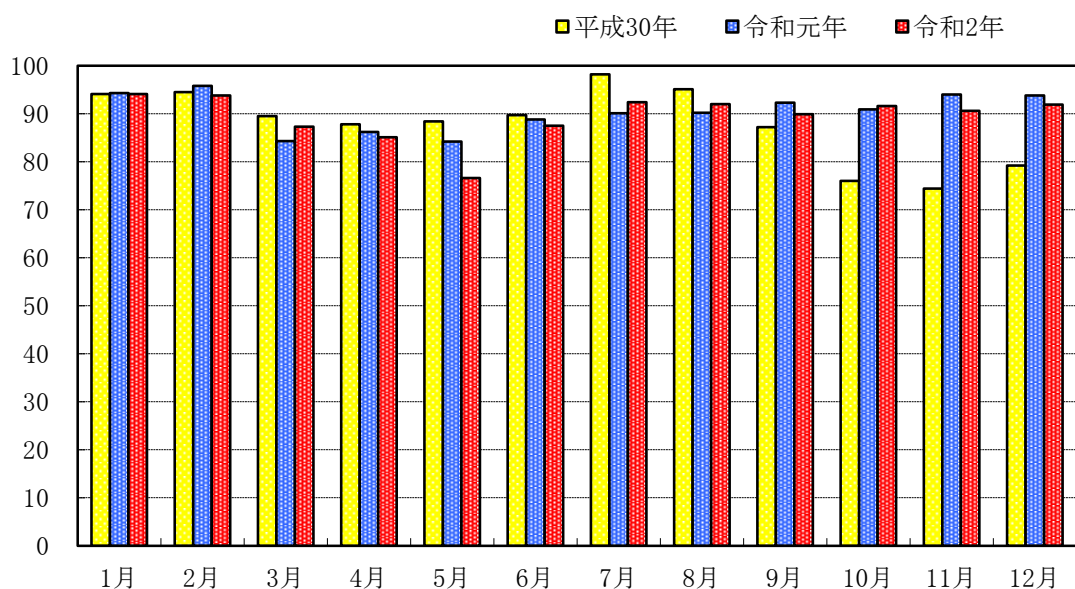
(5) 月別平均相対湿度(3年間)



(単位:%)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成30年	95.2	96.1	83.5	86.7	85.4	89.2	89.7	91.7	92.7	91.2	94.6	94.1
令和元年	94.9	93.9	87.6	85.1	76.5	89.4	92.5	92.6	90.1	92.1	91.2	92.1
令和2年	94.9	95.0	89.9	87.7	88.8	90.8	99.2	95.3	88.4	76.5	74.8	79.5

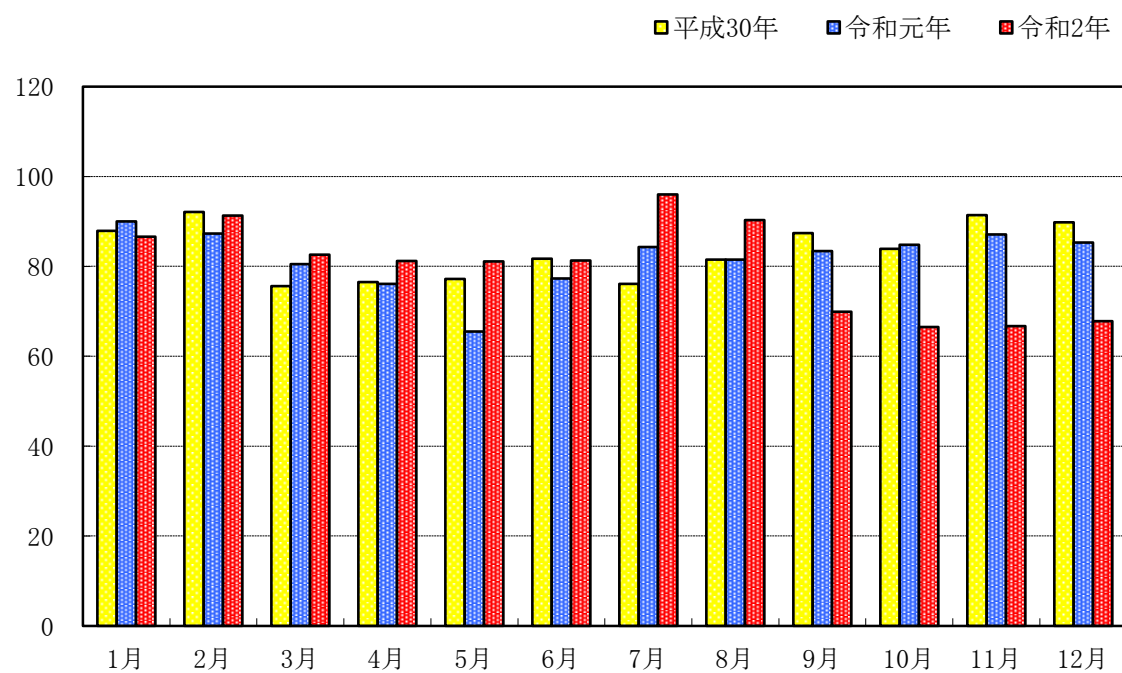
(6) 月別平均実効湿度(3年間)



(単位:%)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成30年	94.3	95.8	84.3	86.2	84.2	88.8	90.1	90.2	92.3	90.9	94.0	93.8
令和元年	94.1	93.8	87.3	85.1	76.6	87.5	92.4	92.0	89.9	91.6	90.6	91.9
令和2年	94.1	94.5	89.5	87.8	88.4	89.7	98.2	95.1	87.2	76.0	74.4	79.2

(7) 月別最低実効湿度(3年間)



(単位: %)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成30年	87.9	92.1	75.6	76.5	77.2	81.7	76.1	81.5	87.4	83.9	91.4	89.8
令和元年	90.0	87.3	80.5	76.1	65.5	77.3	84.3	81.5	83.4	84.8	87.1	85.3
令和2年	86.6	91.3	82.6	81.2	81.1	81.3	96.0	90.3	69.9	66.5	66.7	67.8

(8) 月別平均風向

(単位：日)

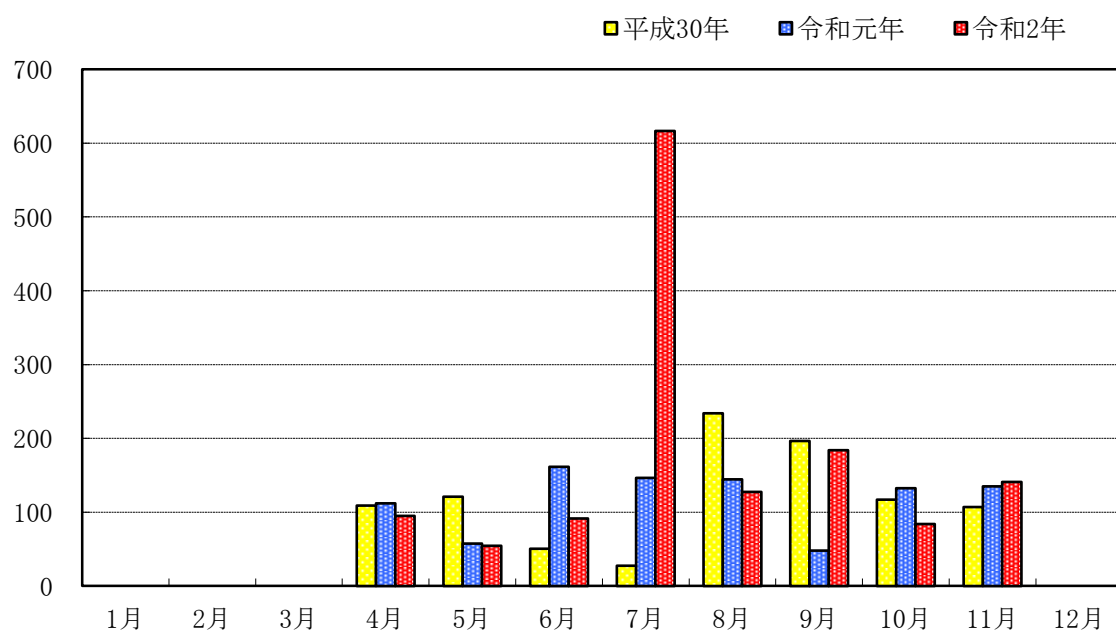
	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	静穏
1月	2			1			1		12	6	3	1		1	4		
2月	1	1	1	1					7	8		1	1	2	4	2	
3月	8	3	3						3	5	1	1	4	3			
4月	3	4	1					2	3	7	1	1	5		1	2	
5月	6	8	2					2	3	4	2	1	2	1			
6月	8	5	1					3	3	3	3	2	1		1		
7月	4	4	6						6	6	3	1				1	
8月	4	4	4					1	3	6	3	1	2	3			
9月	4	8	1					8	5	4							
10月	3	1		1				5	6	15							
11月	1		1	2				1	10	10		1		1	1	2	
12月	1	1	1	1					7	10				2	4	4	
年計	45	39	21	6	0	0	1	22	68	84	16	10	15	13	15	11	0

(9) 月別平均風速・最大瞬間風速

(単位：m/s)

月	平均風速	最大瞬間風速	月	平均風速	最大瞬間風速
1	3.3	26.8(28日)	7	2.2	14.9(28日)
2	4.0	28.6(23日)	8	2.1	13.6(23日)
3	3.8	27.7(20日)	9	2.9	22.0(2日)
4	3.9	28.3(20日)	10	2.7	28.9(10日)
5	3.0	27.0(19日)	11	2.8	18.3(28日)
6	2.6	17.2(15日)	12	4.2	24.5(30日)

(10) 月間降水量(3年間)

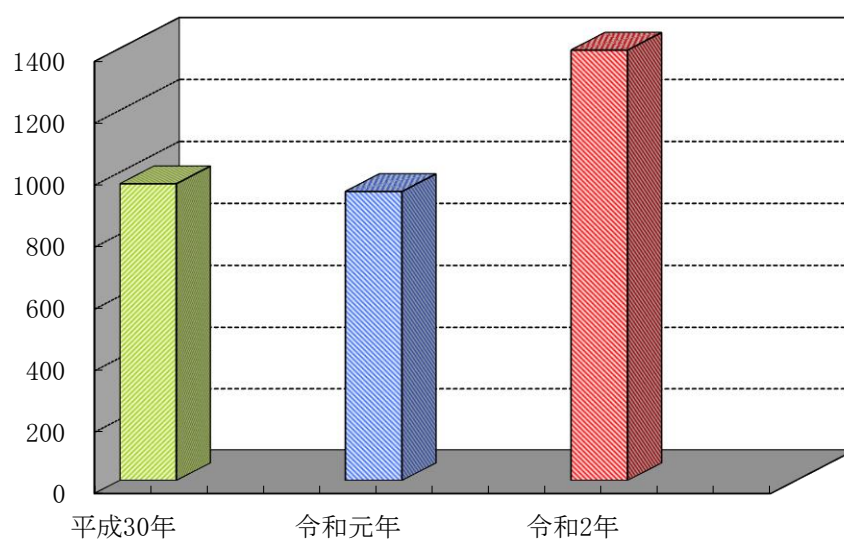


(単位：mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成30年	※	※	※	109.0	121.0	50.5	27.5	234.0	196.5	117.0	107.0	※
令和元年	※	※	※	112.0	57.5	161.5	146.5	144.5	48.0	132.5	135.0	※
令和2年	※	※	※	95.0	54.5	91.5	616.5	127.5	184.0	84.0	141.0	※

※冬期間（12・1・2・3月）観測休止

(11) 年間降水量(3年間)

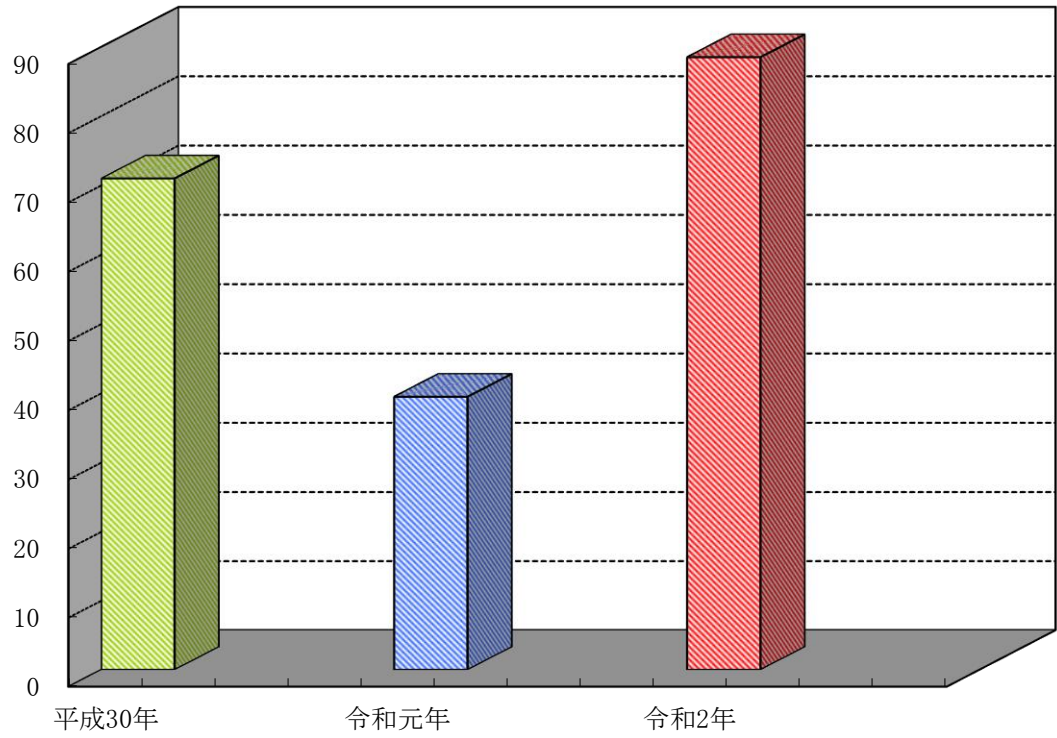


(単位：mm)

	平成30年	令和元年	令和2年
年間降水量	962.5	937.5	1,394.0

※冬期間（12・1・2・3月）観測休止

(12) 日最大降水量(3年間)

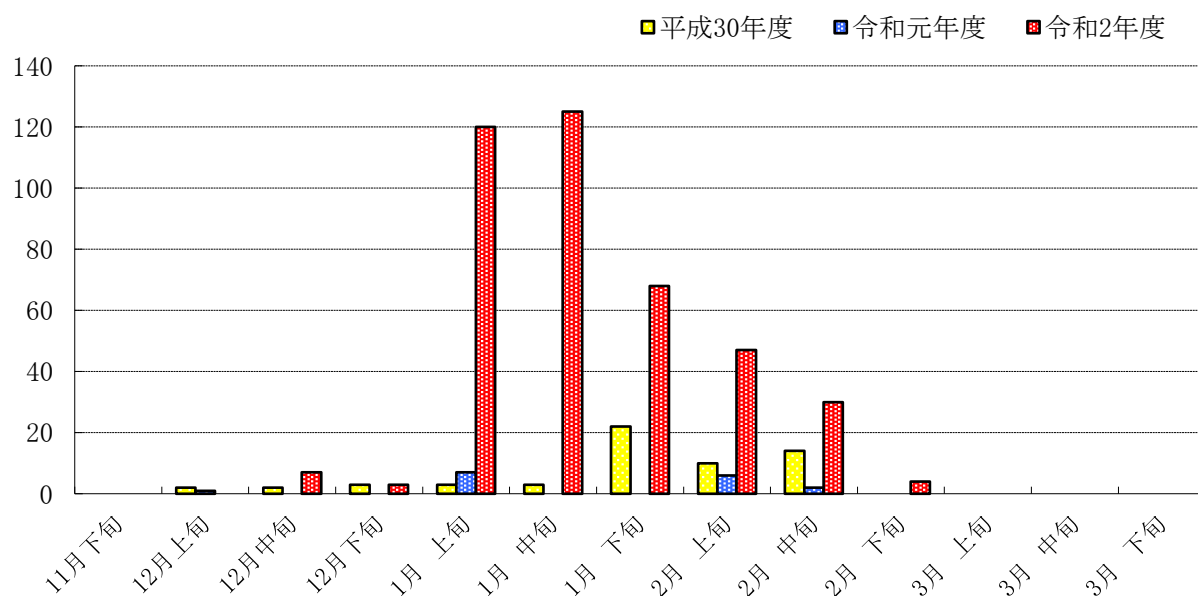


(単位：mm)

	平成30年	令和元年	令和2年
日最大降水量	71	39.5	88.5
	8月31日	7月28日	7月31日

※冬期間（12・1・2・3月）観測休止

(13) 最深積雪量(3年間)



(単位: cm)

	11月 下旬	12月 上旬	12月 中旬	12月 下旬	1月 上旬	1月 中旬	1月 下旬	2月 上旬	2月 中旬	2月 下旬	3月 上旬	3月 中旬	3月 下旬
平成30年度	0	2	2	3	3	3	22	10	14	0	0	0	0
令和元年度	0	1	0	0	7	0	0	6	2	0	0	0	0
令和2年度	0	0	7	3	120	125	68	47	30	4	0	0	0

	初 雪	年降雪量	日最大降雪量	最終融雪日
平成30年度	12月9日	93.0cm	16.0cm (1月27日)	2月17日
令和元年度	12月6日	16.0cm	7.0cm (1月5日)	2月12日
令和2年度	12月14日	591.0cm	95.0cm (1月9日)	2月20日

28. 安田地区気象状況

(1) 火災警報発令件数及び延べ日数

発令なし

(2) 月別平均風向

(単位：日)

	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	最 多 風 向
1月	1	2	1		1	1	2	4	6	10			1			2	南南西
2月	2	3	3					5	4	8		1		2	1		南南西
3月	2	6	2	1				7	4	5				2	1	1	南南東
4月	1	5	3				1	6	4	7		1	1			1	南南西
5月	1	11	1					10		2	1	1	3			1	北北東
6月		15	1					5	2	3	2	1	1				北北東
7月	1	3	6					7	5	7	1					1	南南東 南南西
8月	1	9			1		1	6	4	3	1		3			2	北北東
9月		5	1		1			16	3	4							南南東
10月		3	4				2	9	5	5	3						南南東
11月	1	3	2		1		1	5	7	8				1	1		南南西
12月	3	5					1	3	3	11					2	3	南南西
年計	13	70	24	1	4	1	8	83	47	73	8	4	9	5	5	11	南南西

最多風向

南南西

(3) 最大瞬間風速

(単位：m/s)

月	最大瞬間風速	日	備 考
1月	38.8	28日	
2月	26.3	16日	
3月	26.0	2日	
4月	34.3	20日	
5月	24.5	19日	
6月	16.3	25日	
7月	16.1	4日	
8月	14.0	27日	
9月	22.7	12日	
10月	29.7	10日	
11月	17.2	20日	
12月	13.4	10日	

最大瞬間風速 38.8 m/s (1月28日)

(4) 降水量

(単位：mm)

	降 水 量			降水日数	記録日数	備 考
	月 間	日最大	平 均			
1月	158.0	17.5	5.1	24 日	31 日	
2月	162.5	26.5	5.6	19 日	29 日	
3月	171.6	29.0	5.5	20 日	31 日	
4月	169.2	38.0	5.6	18 日	30 日	
5月	54.5	18.0	1.8	10 日	31 日	
6月	119.0	45.0	4.0	10 日	30 日	
7月	583.5	67.0	18.8	24 日	31 日	
8月	127.5	35.0	4.1	13 日	31 日	
9月	227.5	75.5	7.6	10 日	30 日	
10月	107.0	29.0	3.5	13 日	31 日	
11月	144.0	33.0	4.8	19 日	30 日	
12月	199.0	28.0	6.4	27 日	31 日	

年間降水量 2,223.3 mm

平均降水量 6.1 mm

日最大降水量 75.5 mm (9月13日)

降水日数 207 日

記録日数 366 日

(5) 月別最高・最低気温

(単位：℃)

月	最 高	日	最 低	日	備 考
1月	12.0	8日	-2.0	17・25日	
2月	14.0	13・14・22日	-5.0	6日	
3月	25.0	13日	-1.0	6日	
4月	24.5	30日	1.0	14日	
5月	30.5	31日	5.0	7日	
6月	34.5	9日	13.0	20日	
7月	35.0	20日	18.0	15日	
8月	42.5	10日	21.0	7・18日	
9月	39.5	8日	14.0	28日	
10月	31.0	2日	6.0	15・20日	
11月	26.8	19日	3.0	11・14日	
12月	15.5	9日	-3.5	30日	

最高気温 42.5 ℃ (8月10日)

最低気温 0.0 ℃ (2月6日)

(6) 月別相対・実効湿度(9時現在)

(単位：%)

月	相 対 湿 度		実 効 湿 度		備 考
	最 高	最 低	最 高	最 低	
1月	99.0	78.0	98.0	88.9	
2月	99.0	70.0	97.0	87.9	
3月	98.0	35.0	86.7	61.4	
4月	98.0	46.0	91.0	66.9	
5月	98.0	48.0	85.9	61.8	
6月	98.0	41.0	86.7	50.0	
7月	98.0	66.0	94.1	64.3	
8月	98.0	52.0	90.1	68.4	
9月	98.0	55.0	88.8	65.3	
10月	98.0	69.0	90.6	74.2	
11月	98.0	53.0	93.2	72.2	
12月	99.0	56.0	96.2	78.1	

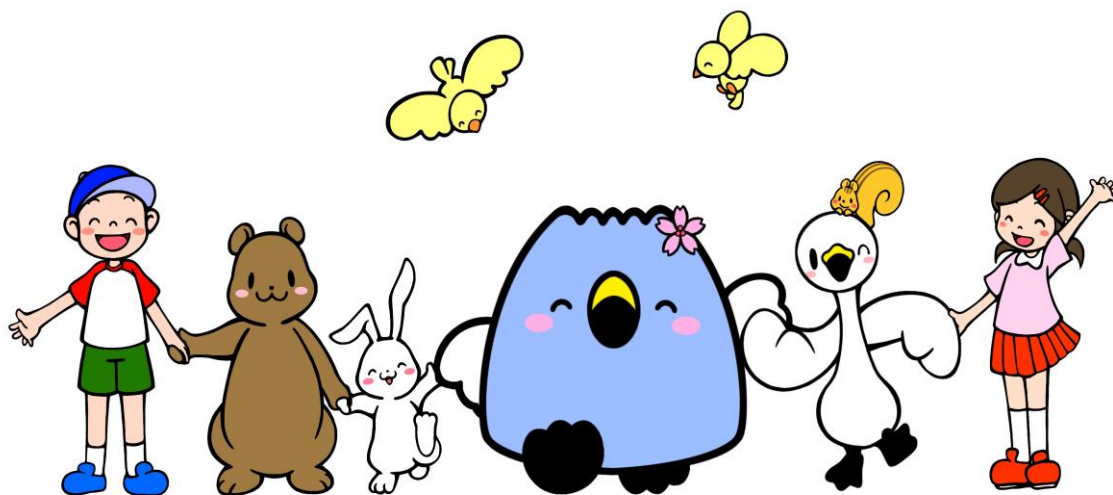
最高相対湿度 99.0 % (1月2日・3日・5日・12日・17日・24日・29日、2月8日・20日・26日・27日、12月15日)

最低相対湿度 35.0 % (3月27日)

最高実効湿度 98.0 % (1月5日)

最低実効湿度 50.0 % (6月30日)

幼少年女性防火クラブ



【幼年消防クラブ】

- 幼年消防クラブの結成率は100%で、管内すべての保育園、幼稚園、こども園がクラブ員であり、避難訓練や防火映画の上映などで防火意識の向上に努めています。

【女性防火クラブ】

- 女性防火クラブ数は1クラブで、女性の立場から家庭防火教室、広報活動、研修などを実施し、天ぷら鍋火災の消火訓練や救急講習会で応急手当の技術習得に努め、成果を上げました。

(1) 幼年消防クラブ結成状況(令和3年5月 1 日現在)

水原地区

	ク ラ ブ 名	所 在 地	結成年月日	クラブ員数
1	おとぎのくにこども園	阿賀野市金田町9番81号	S60. 5. 20	108
2	分 田 こ ど も 園	阿賀野市上江端3751番地	〃	41
3	よ ろ こ び 保 育 園	阿賀野市北本町11番38号	〃	35
4	た ち ば な 保 育 園	阿賀野市中央町一丁目3番1号	〃	96
5	あ や め 保 育 園	阿賀野市野地城91番地	〃	53
6	み ど り 保 育 園	阿賀野市緑町24番30号	〃	106
7	安 野 こ ど も 園	阿賀野市南安野町7番66号	〃	103
8	日 章 幼 稚 園	阿賀野市中央町二丁目2番40号	〃	44
9	ひ ま わ り 幼 稚 園	阿賀野市学校町6番13号	〃	68
	計			654

安田地区

	ク ラ ブ 名	所 在 地	結成年月日	クラブ員数
1	安 田 幼 稚 園	阿賀野市保田3891番地	S62. 5. 1	15
2	ほ た る こ ど も 園	阿賀野市保田3882番地	H4. 4. 1	101
3	風 の 子 こ ど も 園	阿賀野市保田715番地 1	〃	92
	計			208

笹神地区

	ク ラ ブ 名	所 在 地	結成年月日	クラブ員数
1	み の り 保 育 園	阿賀野市上高関107番地3	S60. 5. 20	79
2	い つ つ む り こ ど も 保 育 園	阿賀野市山崎96番地1	〃	46
3	出 湯 保 育 園	阿賀野市出湯280番地6	〃	22
4	双 葉 保 育 園	阿賀野市金屋559番地 1	〃	32
	計			179

京ヶ瀬地区

	ク ラ ブ 名	所 在 地	結成年月日	クラブ員数
1	京 ケ 瀬 幼 稚 園	阿賀野市曾郷129番地	S61. 5. 20	71
2	京 ケ 瀬 こ ど も 園	阿賀野市緑岡3番地20	〃	168
	計			239

幼年消防クラブ員合計 1,280 名

(2) 女性防火クラブ結成状況(令和3年5月 1 日現在)

	ク ラ ブ 名	所 在 地	結成年月日	クラブ員数
1	分 田 女 性 防 火 ク ラ ブ	阿賀野市分田	H2. 1. 1	11
	計			11

女性防火クラブ員合計 11 名